



櫻谷文庫 洋館破損調査報告書

- 建築後106年の経年劣化状況 -

一級建築士事務所特定非営利法人古材文化の会設計室

公益財団法人櫻谷文庫洋館保全補修工事
にかかわる破損調査報告書

一級建築事務所 特定非営利活動法人古材文化の会設計室

公益財団法人櫻谷文庫洋館保全補修工事にかかわる破損調査報告書

1, 櫻谷文庫洋館について

櫻谷文庫洋館は「公益財団法人櫻谷文庫」が所有する「旧木島櫻谷家住宅」の1棟で、平成29年3月31日に「和館、画室」の2棟と共に京都市指定建造物（市指建 第75号）となった。木島櫻谷は、京都画壇の泰斗として明治から昭和にかけて活躍した四条派の日本画家であった。当該調査は、明治から大正期における洋館建築として歴史的にも貴重な建物の維持と、保存修理を前提に京都市の補助金を受けて行ったものである。

1-1 所在地

京都市北区等持院東町56番地の1

1-2 地勢と地域の歴史

所在地は御室衣笠特別保存地区に近く、背景となる衣笠の山並みと東に広がる眺望は、木島櫻谷以外の日本画家たちをも惹きつけた。当時は竹藪と畑だけの農村に、「何時しか著名な画家たちが昭和の初期頃までには移り住んだため、この地域は『衣笠絵描き村と称せられた。』」と今に伝わっている。櫻谷の敷地は、東側の馬代通りと南側の通りに面する北西角地で、1000坪を有する敷地に7、8棟の建造物と大きな池のある庭園があったことが知られている。

1-3 近隣の断層帯

当該地域は、三峠・京都西山断層帯の南東半部にあたる。地震調査研究推進本部地震調査委員会の報告書（平成17年2月9日）によると、断層帯の将来の活動予想として、地震の規模をマグニチュード7.5程度、断層のずれの量を、3乃至4メートル（左横ずれおよび上下成分）として公表している。本断層帯は、今後30年間に地震が発生する確率が、我が国の主な活断層の中ではやや高いグループに属するとされる。

1-4 敷地の形状と特徴

敷地を鳥瞰すると方形のうち北東部と南西部を欠くため、紋様の「違い升」に似た形状となっている。また、馬代通り面する東側には歩道が南北に続くが、櫻谷文庫が所蔵の古写真では門前に木造橋が架かっている。現在は暗渠になってしまったが、かつては、櫻谷邸の東側を御室川の支流である宇多川が流れていたことがわかる。また、敷地の南側に面する通りとの道路境界線では70センチ程の高低差があり、造成時に盛土がなされた可能性もあり得ると思われる。

2, 調査について

当該建造物は、現役の収蔵庫で相当数の貴重な品々が収蔵されている。そのため、目視による調査を基本としたが、北側の外壁部に張られている鋼板については、所有者の許可を得て部分的な鋼板の取り外しも行った。また、点検口等の進入が可能な範囲での部材等についての調査も実施した。その他、各部屋の床レベルと、雨水の建造物への影響を確認するために、当該

建造物の外構や周辺地盤についてもレベル測量を行った。

2-1 調査の概要

現地調査は長樂活周と坂井清が、成果物のデータ化を谷口由佳子、徳光都妃子が担当した。

調査期間 令和元年7月1日から10月末日まで。

調査方法 目視及び打音調査とレベル測量。

3、現状の仕様と破損状況

- 基 礎** 1階レンガ造の基礎は、地盤面と外壁立ち上がり箇所の一部に豆板状のコンクリートが露出しているところがあった。また、西棟の床下内部からは、コンクリート基礎の上部とレンガの積層状況が明瞭に確認できた。しかし、地盤面の安定性を考慮してその形状及び寸法測定は行わなかった。また、西棟の束石は、全てレンガを3段乃至4段積みとして、石やコンクリート製のものは無かった。
- 床 組** 西棟1階の外周部はレンガ造となるため、レンガ壁に接する束石のレンガは3段積で束を受ける。大引は、すべて東西方向となり、その大引を受ける床束には貫が無く、厚さ33ミリの床板と大引を釘止めとしている。東、大引共に蟻害が甚だしいが、個体の確認はできなかった。また、東棟1階の床は、元は畳敷きであったが現状はフローリングに変えられている。なお、東棟の床下調査は、進入口が無いため未調査となった。2階は、東西棟共に1階レンガ造の四周の上端に土台を据え、南北方向に渡した床梁をその土台に繋いで、2階の床板を直貼りとしている。
- 軸 部** 東棟は、大壁のため軸部の詳細は不明であるが、西棟の内部は真壁となっている。西棟の中央部と、その東側の2箇所には松材の大梁が南北に渡されているが、材質の歪みで梁を載せる柱に傾斜が生じている。また、東棟に繋がる南側の桁を受ける東端の柱の柄も、桁から抜けかけて隙間が生じている。
- 小屋組** 東棟は、寄棟屋根の和小屋で、東西2本の真束を45度回転させ、それぞれが左右両方の隅棟木を受けてる。野地板は広幅の杉材で、雨漏りの痕跡等は確認できなかった。西棟は化粧屋根裏で、西端の真束は東棟同様45度回転させて、南北2本の隅棟木の柄を真束に突き通して栓止めとしている。また、多くの野地板に、雨漏りの痕跡が見られるが、古いものであった。
- 軒廻り** 東側の正面中央に、洗い出し仕上げの玄関ポーチの庇が取り付く。その上部に亀裂が生じているため、内部の確認を急ぐ必要がある。東棟の1階には、玄関ポーチの南北と南

側に御影石製の笠石が取り付く。同様に、西棟1階の南北及び西側にも、東棟より少し小ぶりの笠石が付くが、これらは概ね良好な状態であった。

東棟2階の軒廻りは、四周の鼻隠しも外壁と同様に、色モルタル刷毛引き仕上げのため、各所に亀裂が生じている。西棟2階の軒廻りは、アール状の蛇腹から鼻隠しにかけて、色モルタル刷毛引き仕上げとなっている。この部分のうち、北側中央には、小屋梁の影響と思われる亀裂が生じており、白色の古い雨漏りの痕跡も確認できる。

屋 根 東棟は寄棟造り、棟筋の東西に鬼瓦が据えられ箱棟瓦がその間に載る。平葺きは棧瓦、大半が創建時のものと考えられ、「凍て割れ」と思われる瓦がある。また、棟瓦と隅棟瓦の接続部で熨斗瓦の緩みや離脱箇所があった。南西部の隅鬼瓦は劣化が甚大で取り替えもやむなしと思われる。西棟の棟筋は東棟の西壁に当たるため、鬼瓦は西端に1基が載り、その南北に隅棟が軒先に降る。瓦の破損状況は東棟とほぼ同じで、「凍て割れ」や熨斗瓦の緩みが確認された。葺き土は「べた葺き」で、レンガ造の建物としては屋根荷重の負担が大きいと思われる。

壁 1階廻りの外壁は、東、南、西面に基壇の石垣風に、一字繋ぎの目地を入れて、灰白色の洗い出し仕上げとなっている。東棟と西棟の境界付近に、中程度の亀裂が生じているが、全体的には概ね良好にみえる。しかし、その上部の壁は、(石積風に太い目地を切る壁)石灰モルタルの下地に、淡黄褐色のモルタル仕上げとしている。東面玄関ポーチの左右の壁と南側全面の壁は下地の石灰モルタル自体の劣化が進んでおり、窓台や飾り縁の破損も目立つ。しかし、西側は、近年の補修でモルタル刷毛に現時点では影響を与えるような亀裂は少ない。また、北側は、書院等の隣接建造物の撤去により、木目調鋼板が張られている。今回その一部を取外したところ、旧書院口の引き戸にも鉄板が張られ薄緑色の塗装が確認できた。また、西棟の北側の窓の廻りは中塗り土に漆喰塗となっていて、他の壁面の仕様と異なっていた。前面が畑地である現況では、維持管理の点から鋼板張りでもやむを得ないかとも思われる。東棟の2階には、外壁の中央部に2本の目地があるが東面の両角には縦方向に亀裂が生じている。また、展示室(1)の北窓の外に付く洗い出しの面台に、亀裂や雨漏りの痕跡を確認した。また、西棟の軒や窓廻りにも雨シミの跡や亀裂が多数みられる。1階の室内は、現役 of 収蔵庫として使用されているため、詳細な調査を行うことができなかったが、石灰モルタル仕上げの壁には、柱際に隙間が生じている箇所が相当数みうけられた。また、書庫(2)の北端にある収納棚には、古い雨漏りの痕跡がある。場所的には、既に撤去された旧書院の西流れの底部からの漏水かと思われる。

東棟にある廻り階段の漆喰壁に、少し目立つ亀裂があるが、浮きや剥離等の状況はみとめなかつた。また、展示室（１）の床の間の北西隅柱との壁にも隙間を生じている。また、隣接する展示室（２）は、天井と壁が漆喰仕上げのため亀裂が生じており、装飾部分の現状維持を図りながらの改修策が必要となる。

建具・欄間 玄関入口の上部に、楕形状の木製ガラス窓が嵌められ、その前面に鉄格子が取り付け。玄関の引戸は、非常に重いので取外して、点検をする必要がある。１階の入室用と２階への専用口にそれぞれ重厚な檜の片開き戸が付く。東棟の１階は、天袋付きの押入があり、襖だてとなっている。１階の窓は、室内側に鉄製引き戸、その外部に木製のガラス窓が付く２重窓構造となっている。書庫（２）入口の鉄扉も開閉が困難で、一旦取外しての点検が必要である。

西棟２階の窓は、南北両面の上下３箇所ずつに開けられている。南側３箇所は、全てアーチ窓であるが北側のアーチ窓は西端のみで、残る２つは横幅が少し広い角型、窓は狭小で鉄製の格子が付く。東棟２階にある外部の窓は、展示室（１）の北窓（引き分け窓）以外はすべてが、上げ下げ窓で室内側に鉄製引き戸が付く。これらの上げ下げ窓は、吊り部材がメタル製で、分銅とのバランス調整が必要である。外部に露出する木製建具には、当初はペンキなどの塗装がなされていた可能性もあるが、その痕跡は見られない。現存の建具は、経年劣化が進んでおり、開閉時に毀損の虞もある。

外 構 北側にある換気口は、土壁や物置小屋で塞がれているため、床下の換気を妨げている。また、その換気口の下端まで盛土がされているため、それより高い位置にある畑地やテニスコートからの、雨水による床下浸水が心配される。また、洋館の南側中央にある竪樋には排水柵が無く、大量の雨水が地盤を浸食する可能性がある。周囲の樹木は、その根が建物の基礎を持ち上げることもある。特に高木については、落ち葉が樋を詰まらせたり、風で折れた枝が瓦を割ることもあり注意が必要。

4. 修理方針

- ・素屋根を設置しないので、収蔵されている貴重な品々を別の保管場所へ移動させる。
- ・屋根工事は、レンガ造の荷重負担を考慮して、空葺きとし、収蔵品のための断熱工事も行なう。また、瓦の「凍て割れ」は、含水率が高い可能性があるため、平葺きの棧瓦はすべて新品とする。しかし、役物瓦は屋根から降ろした後、吟味して使用に耐えるものはできるだけ再用する。降ろした全ての瓦は、銘や刻印等を調査し、資料として特に重要なものは小屋裏等に収納する。
- ・軒樋の寸法を大きくして、軒裏に当たる雨のしぶきを緩和する。

- ・外壁と窓枠周囲に目地を施し、シール施工。
- ・各室内の収蔵品がない状態にできれば、点検調査ができていない室内側の窓枠及び建具の開閉点検と修理を行い、外部に露出する木製建具には防腐・防虫剤であるキシラデコール塗装を施す。
- ・東棟1階の書庫（1）に床の点検口を新設し、床下の目視調査を行なう。
- ・2階展示室（2）のリノリウムを保護するため、カーペットを敷く。
- ・屋根工事用の足場を利用して、玄関ポーチの庇と2階北側の面台の内部調査を実施する。
- ・北側の換気口を改修して、床下の換気機能を高めるとともに、地盤面の鋤取り等の整地を行う。
- ・1階の外壁は、中塗り部分まで剥がして下地の確認をする。もし、下地に浮き等が生じているときは、その部分を除去して、同じ材料で修理する。中塗りを剥がした後は、プライマー処理を行い、石灰モルタル下塗り、中塗り、色モルタル仕上げとする。なお、その間に目地処理も行う。
- ・2階の外壁は、上塗りが可能と思われるため、クラック部分をV字に溝切して目地を詰め、ネット張りをしてから全面をしごき、石灰モルタルで中塗り、上塗りは色モルタル刷毛引きとする。
- ・台輪のクラック部分も、Vカットを施したあと目地詰めを行う。そのあと、ネット張りをを行い中塗り、上塗りは色モルタル刷毛引き仕上げとする。
- ・洗い出しの繕いは、中塗りを取り除き、石灰モルタルで下塗りを施した後に、中塗り、洗い出し仕上げとする。
- ・室内の漆喰壁は、ひび割れ部分をVカットし、浮きがある場所はビス止め、Vカット詰め、ネット張りをしして砂漆喰下塗りとして、乾燥後に中塗り、漆喰上塗り仕上げとする。

5. 痕跡及び古写真について

西棟1階の南側の壁には、アーチ窓の痕跡が3箇所確認できる。2箇所は新設の窓により殆ど形をとどめないが、残りの良いものの寸法は縦70cm、横72cmであった。このことにより、2階のアーチ窓の縦50cm幅60cmより少し大きいサイズであったようである。

櫻谷文庫所蔵の写真によると、創建時は洋館北側に数寄屋風の平屋建ての建物が接続しているのが確認できる。また、西側にも平屋の建物が見られることから、洋館内へは東の玄関ポーチからと、北側の書院口及び現在は西棟の出入口となっている3箇所であったと思われる。今回の調査において、洋館の北側に張られている鋼板の一部を外したところ、資料写真にある書院口の鉄扉、及び西棟北側の窓の一部を確認することができた。

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
1	現況配置図	1/250	2 1	改修計画 配置図	1/250
2	現況 1階平面図	1/50	2 2	改修計画 1階平面図	1/50
3	現況 2階平面図	1/50	2 3	改修計画 2階平面図	1/50
4	現況 屋根伏図	1/50	2 4	改修計画 屋根伏図	1/50
5	現況 西立面図、東立面図	1/50	2 5	改修計画 西立面図、東立面図	1/50
6	現況 南立面図	1/50	2 6	改修計画 南立面図	1/50
7	現況 北立面図	1/50	2 7	改修計画 北立面図	1/50
8	現況 断面図（梁間方向）	1/50			
9	現況 断面図（桁行方向）	1/50			
1 0	現況 南北地形断面図	1/50			
1 1	レベル配置図	—			
1 2	レベル1階平面図	—			
1 3	レベル2階平面図	—			
1 4	1階写真撮影方向図	—			
1 5	2階写真撮影方向図	—			
1 6	屋根写真撮影方向図	—			
1 7	1階天井裏及び床下写真撮影方向図	—			
1 8	小屋裏写真撮影方向図	—			
1 9	外構写真撮影方向図1	—			
2 0	外構写真撮影方向図2	—			



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺

工事名称

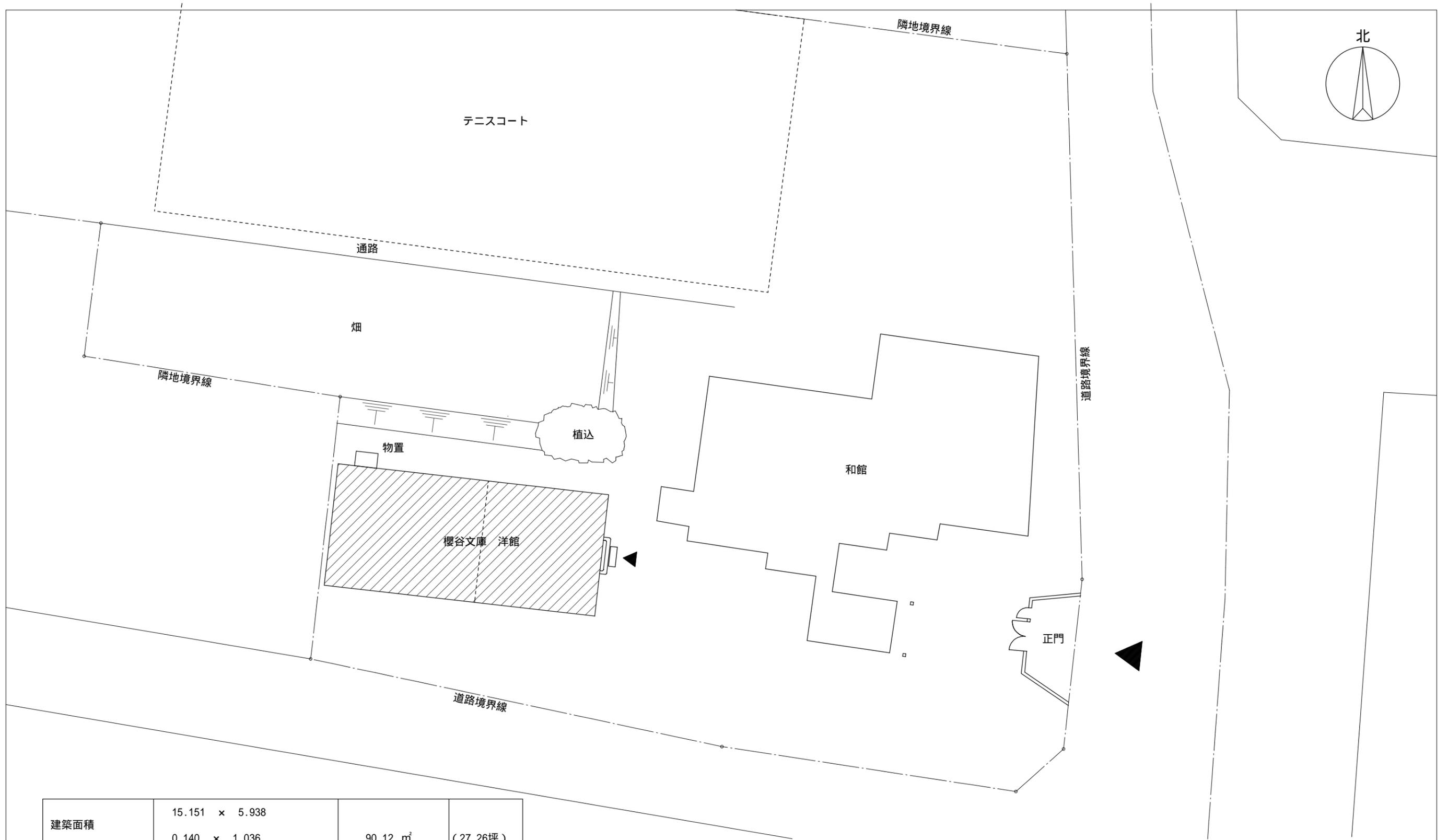
図面番号

年月日

図面名称

2019.10.25

図面リスト



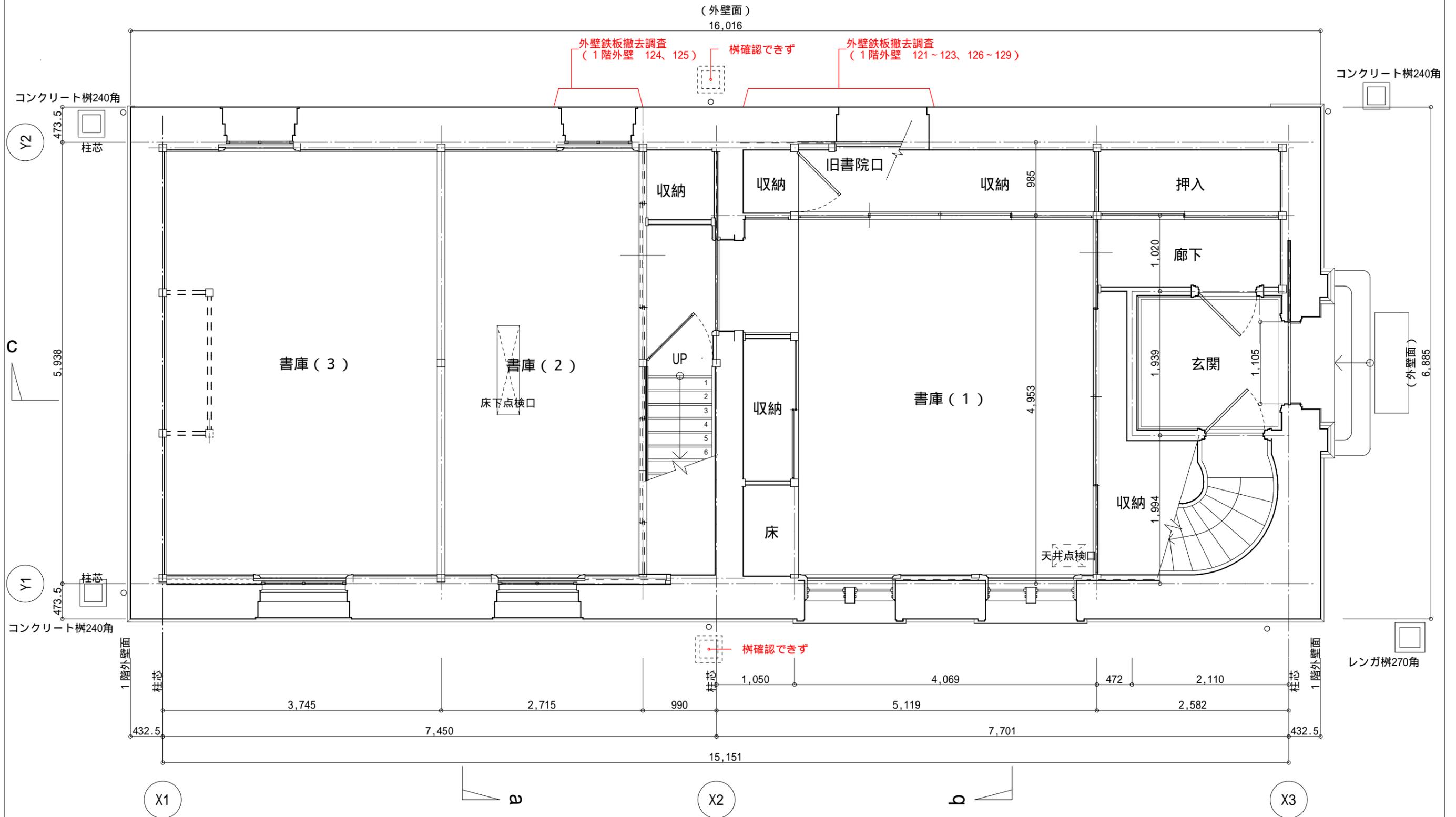
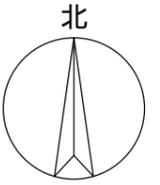
建築面積	15.151 × 5.938 0.140 × 1.036	90.12 m ²	(27.26坪)
1階床面積	15.151 × 5.938	89.97 m ²	(27.22坪)
2階床面積	15.151 × 5.938	89.97 m ²	(27.22坪)
延べ床面積		179.94 m ²	(54.43坪)

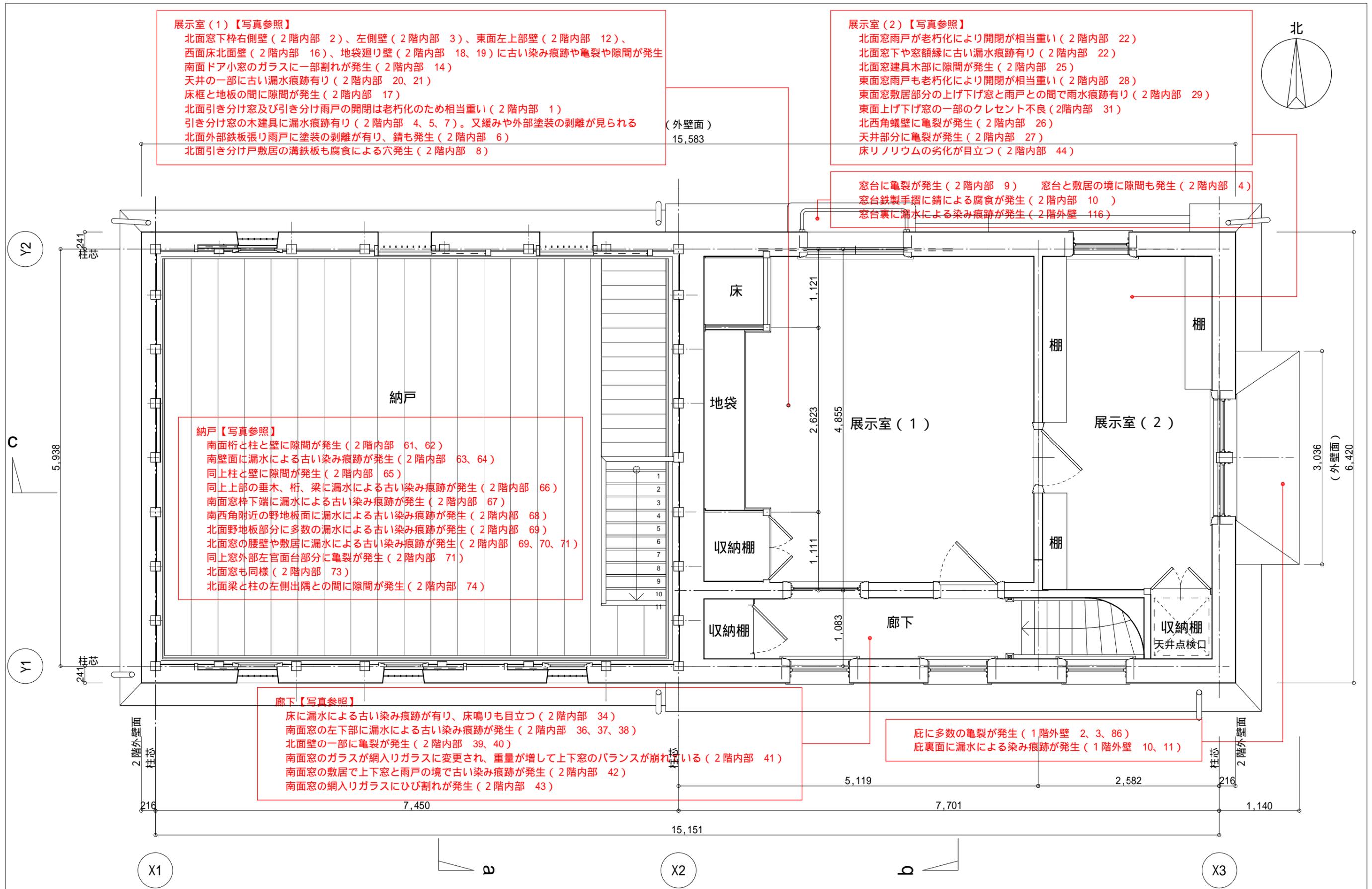
 今回調査建物



【写真参照】

屋内の廊下壁面（1階内部 46、47）、X2通り収納壁面（1階内部 57）、書庫（3）南西壁面（1階内部 60）に亀裂が発生
 書庫（1）収納たれ壁（1階内部 49、50）、南面窓たれ壁・足元（1階内部 51、52）、書庫（2）南面窓足元壁（1階内部 53、54）
 北面たれ壁（1階内部 55）、収納北面壁（1階内部 56）、書庫（3）南面窓足元壁（1階内部 58、59）、南西面角たれ壁（1階内部 60）に古い漏水痕跡有り





展示室 (1) 【写真参照】
 北面窓下枠右側壁 (2階内部 2)、左側壁 (2階内部 3)、東面左上部壁 (2階内部 12)、
 西面床北面壁 (2階内部 16)、地袋廻り壁 (2階内部 18、19) に古い染み痕跡や亀裂や隙間が発生
 南面ドア小窓のガラスに一部割れが発生 (2階内部 14)
 天井の一部に古い漏水痕跡有り (2階内部 20、21)
 床框と地板の間に隙間が発生 (2階内部 17)
 北面引き分け窓及び引き分け雨戸の開閉は老朽化のため相当重い (2階内部 1)
 引き分け窓の木建具に漏水痕跡有り (2階内部 4、5、7)。又緩みや外部塗装の剥離が見られる
 北面外部鉄板張り雨戸に塗装の剥離が有り、錆も発生 (2階内部 6)
 北面引き分け戸敷居の溝鉄板も腐食による穴発生 (2階内部 8)

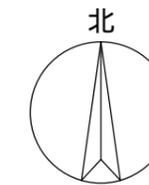
展示室 (2) 【写真参照】
 北面窓雨戸が老朽化により開閉が相当重い (2階内部 22)
 北面窓下や窓額縁に古い漏水痕跡有り (2階内部 22)
 北面窓建具木部に隙間が発生 (2階内部 25)
 東面窓雨戸も老朽化により開閉が相当重い (2階内部 28)
 東面窓敷居部分の上げ下げ窓と雨戸との間で雨水痕跡有り (2階内部 29)
 東面上げ下げ窓の一部のクレセント不良 (2階内部 31)
 北西角蟻壁に亀裂が発生 (2階内部 26)
 天井部分に亀裂が発生 (2階内部 27)
 床リノリウムの劣化が目立つ (2階内部 44)

窓台に亀裂が発生 (2階内部 9) 窓台と敷居の境に隙間も発生 (2階内部 4)
 窓台鉄製手摺に錆による腐食が発生 (2階内部 10)
 窓台裏に漏水による染み痕跡が発生 (2階外壁 116)

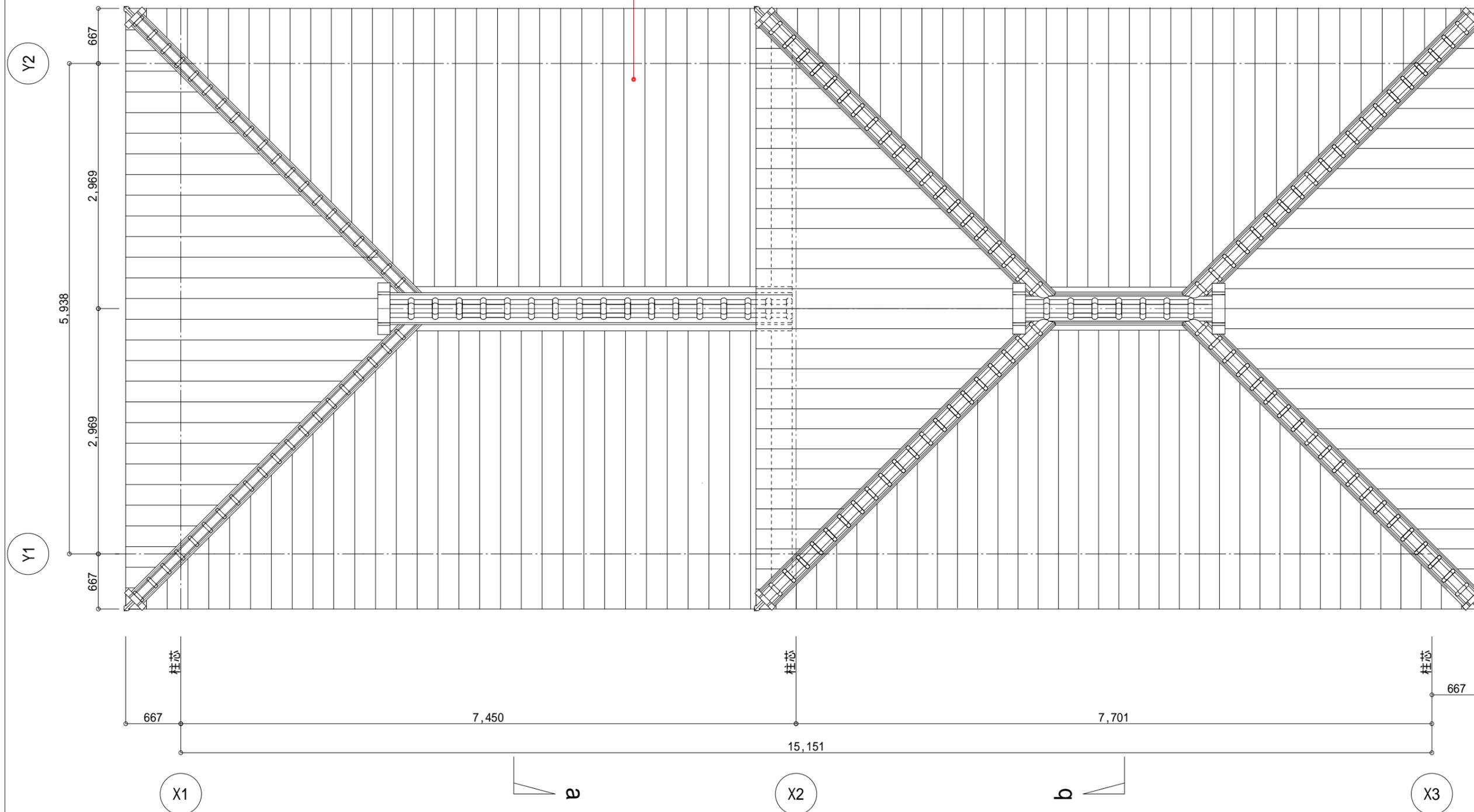
納戸 【写真参照】
 南面桁と柱と壁に隙間が発生 (2階内部 61、62)
 南壁面に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 63、64)
 同上柱と壁に隙間が発生 (2階内部 65)
 同上上部の垂木、桁、梁に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 66)
 南面窓枠下端に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 67)
 南西角附近の野地板面に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 68)
 北面野地板部分に多数の漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 69)
 北面窓の腰壁や敷居に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 69、70、71)
 同上窓外部左官面台部分に亀裂が発生 (2階内部 71)
 北面窓も同様 (2階内部 73)
 北面梁と柱の左側出隅との間に隙間が発生 (2階内部 74)

廊下 【写真参照】
 床に漏水による古い染み痕跡が有り、床鳴りも目立つ (2階内部 34)
 南面窓の左下部に漏水による古い染み痕跡が発生 (2階内部 36、37、38)
 北面壁の一部に亀裂が発生 (2階内部 39、40)
 南面窓のガラスが網入りガラスに変更され、重量が増えて上下窓のバランスが崩れている (2階内部 41)
 南面窓の敷居で上下窓と雨戸の境で古い染み痕跡が発生 (2階内部 42)
 南面窓の網入りガラスにひび割れが発生 (2階内部 43)

庇に多数の亀裂が発生 (1階外壁 2、3、86)
 庇裏面に漏水による染み痕跡が発生 (1階外壁 10、11)



屋根【写真参照】
一部取り替えられている瓦以外の全ての瓦は、原料の土の塩害により小さなひび割れに雨水などが染み込み、凍結により亀裂や破損が拡大している。漆喰の落下や瓦のズレも目立つ（屋根 1~30）



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

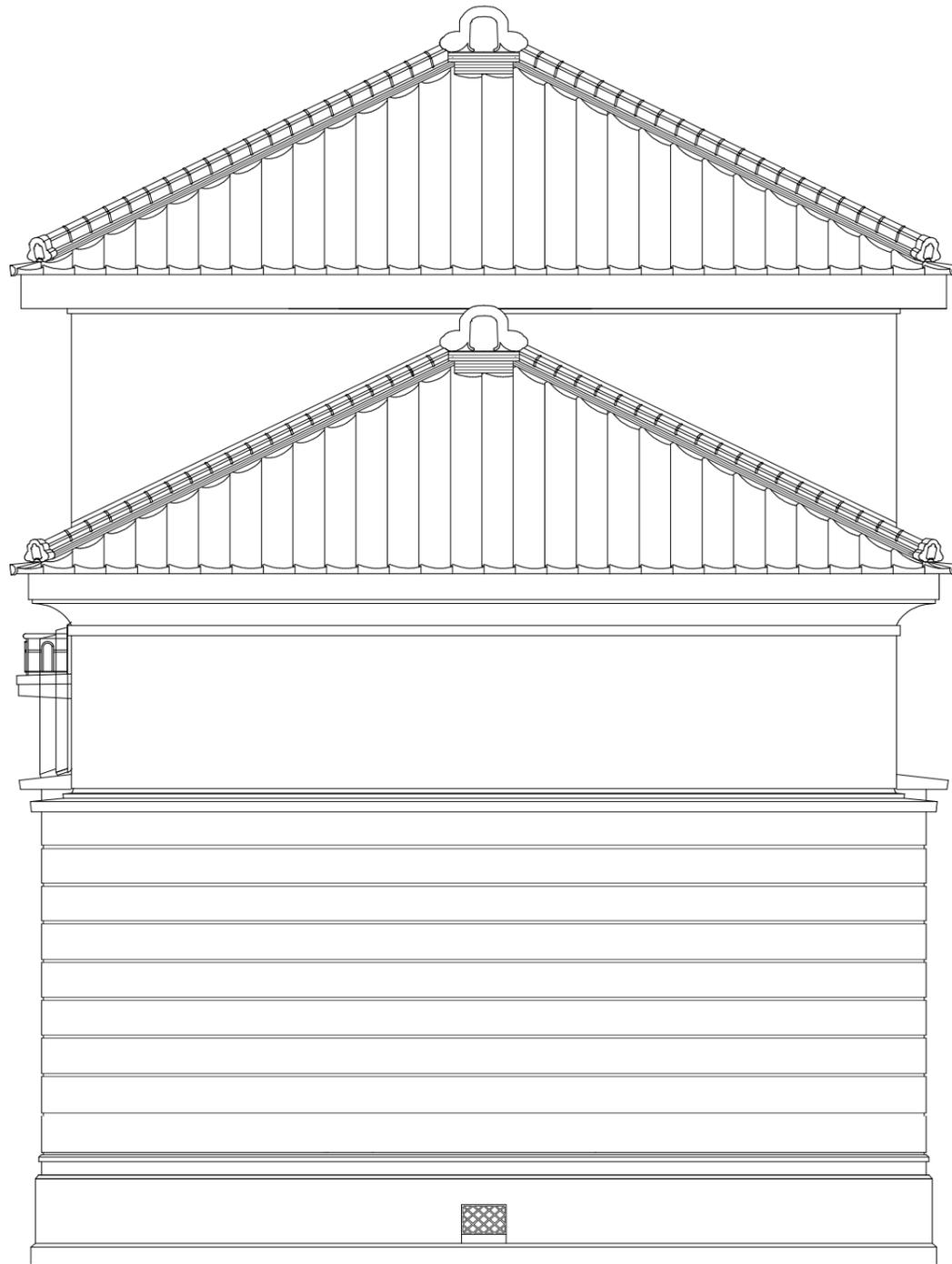
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

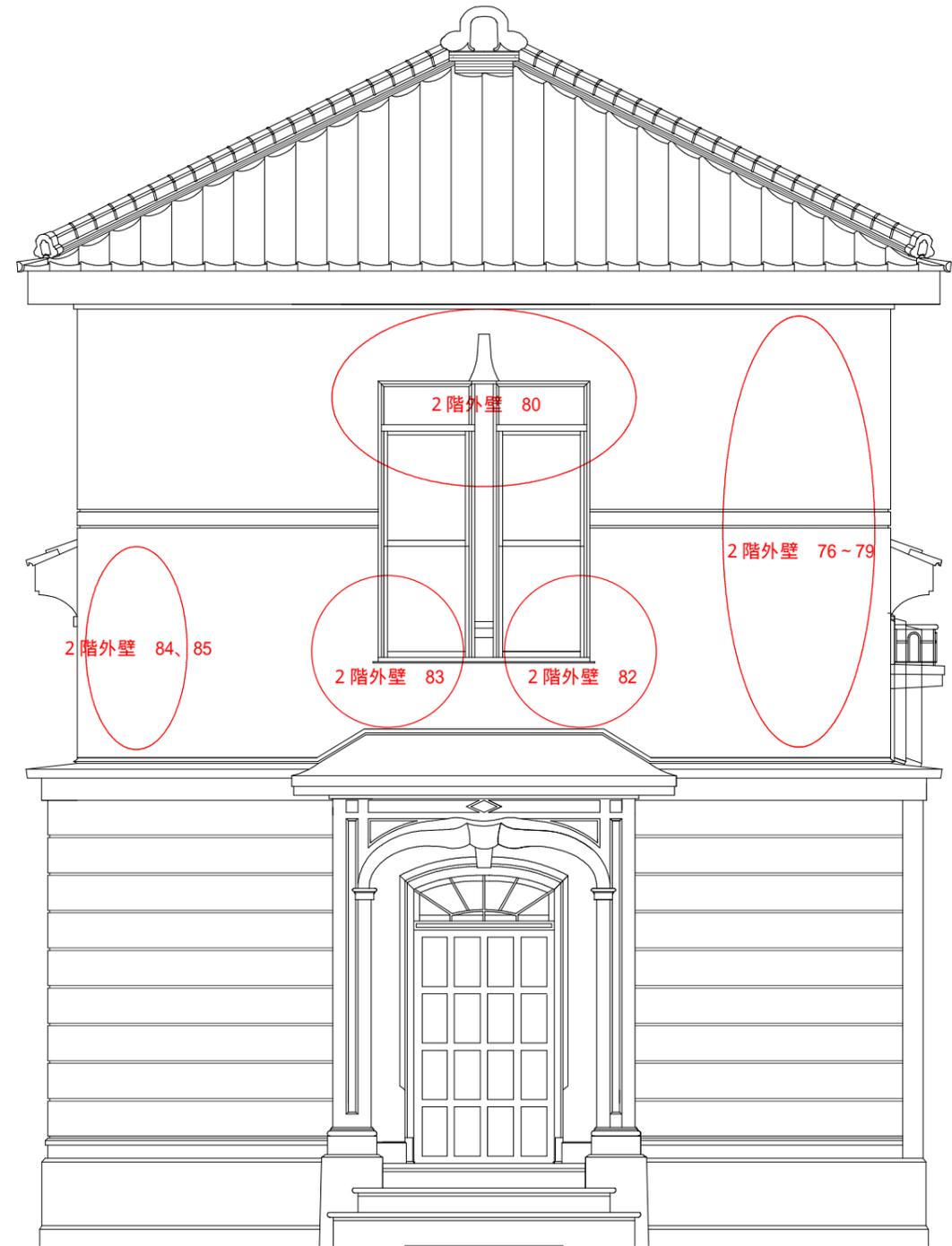
工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
現況 屋根伏図

図面番号
4 / 27



現況 西立面図

【写真参照】1階外壁 69、70



現況 東立面図

【写真参照】1階外壁 1~21
 【写真参照】2階外壁 76~86
 庇の特記は2階平面図参照

○ 2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所



一級建築士事務所
 特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

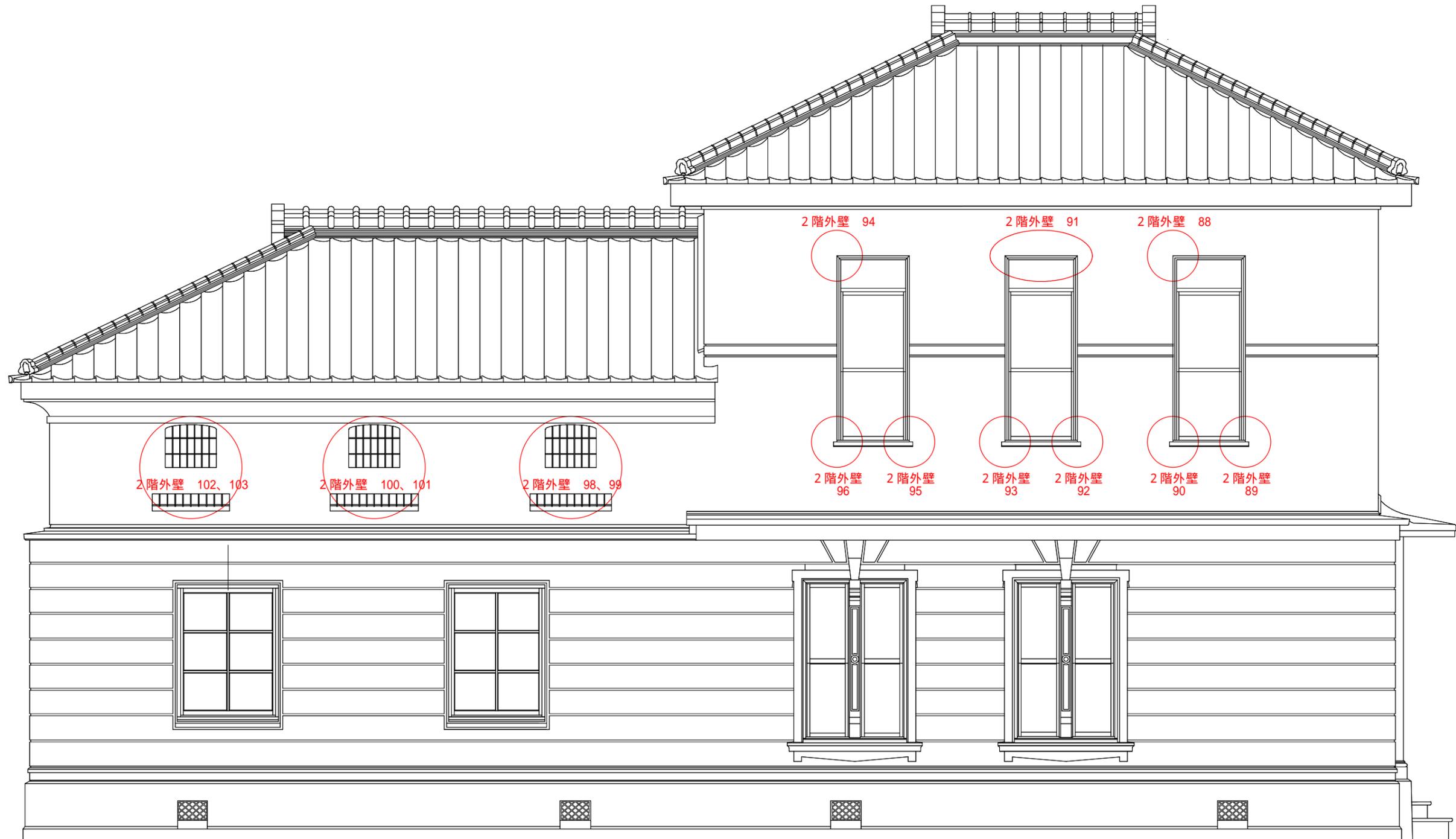
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
 TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺 1/50
 年月日 2019.10.25

工事名称 洋館保全補修工事にかかわる破損調査
 図面名称 現況 西立面図 東立面図

図面番号 5 / 27



現況 南立面図

【写真参照】 1階外壁 23～68
 【写真参照】 2階外壁 87～104

○ 2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所



一級建築士事務所
 特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

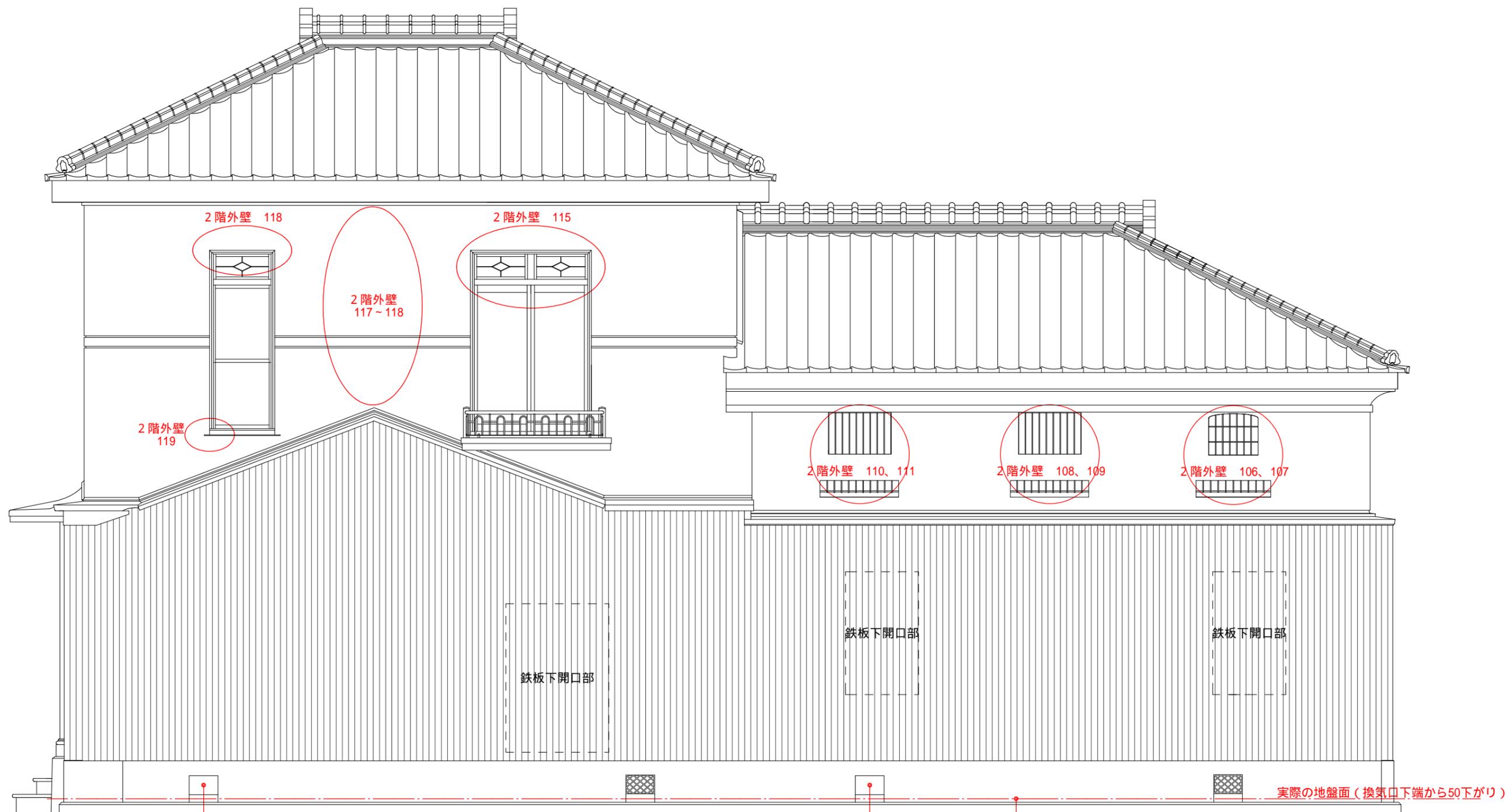
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
 TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
 1/50
 年月日
 2019.10.25

工事名称
 洋館保全補修工事にかかわる破損調査
 図面名称
 現況 南立面図

図面番号
 6 / 27



換気口
土壁で塞がれている

換気口
土壁で塞がれている

現況 北立面図

- 【写真参照】 1階外壁 71~73
- 【写真参照】 1階外壁 121~129
- 【写真参照】 2階外壁 105~120

○ 2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所

北側の地盤は当初南側と同じレベルであったと思われる。
建物北側にテニスコートや畑が作られた時に地盤が約30cm弱上げられたと思われる。



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

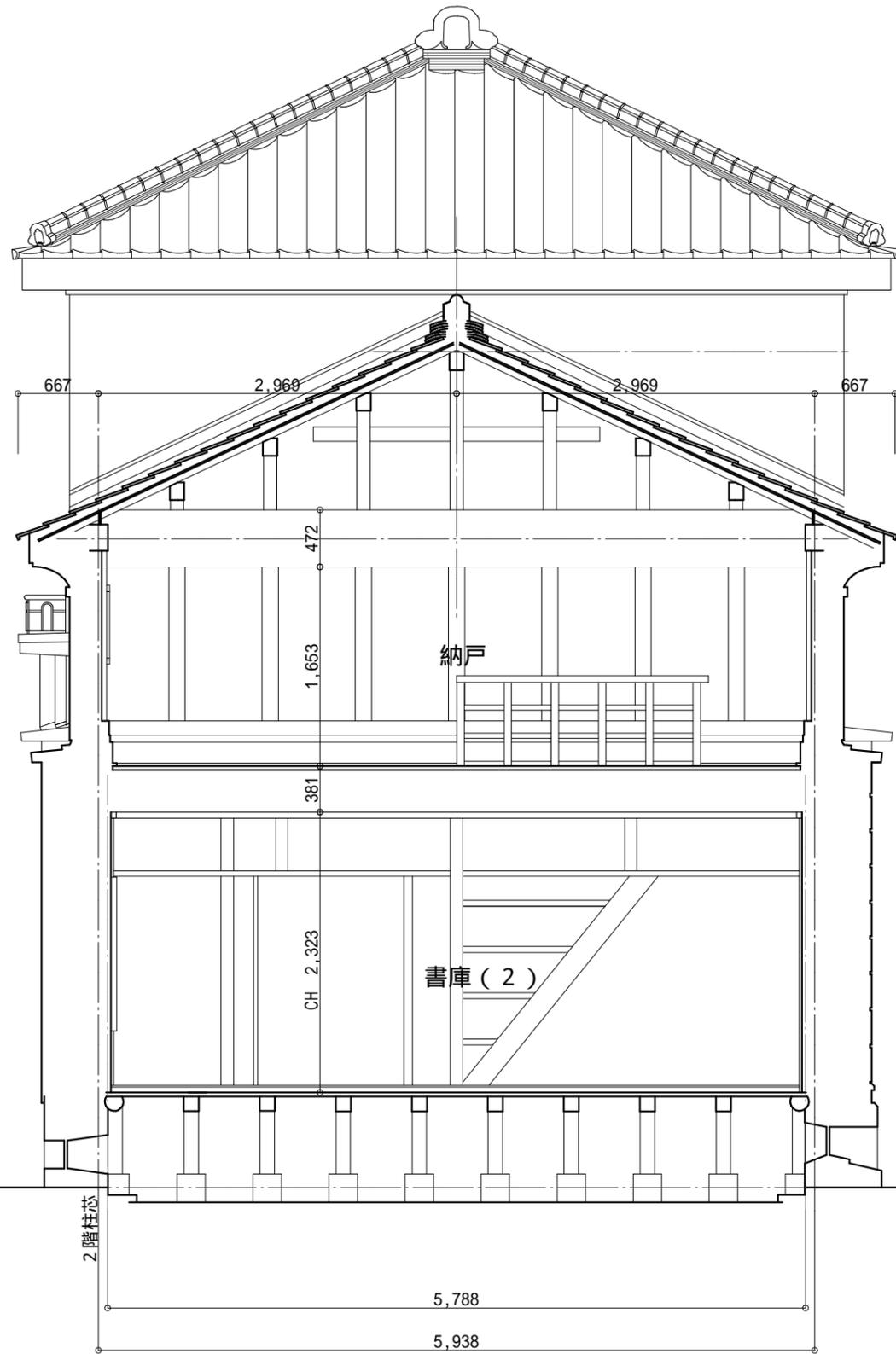
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
現況 北立面図

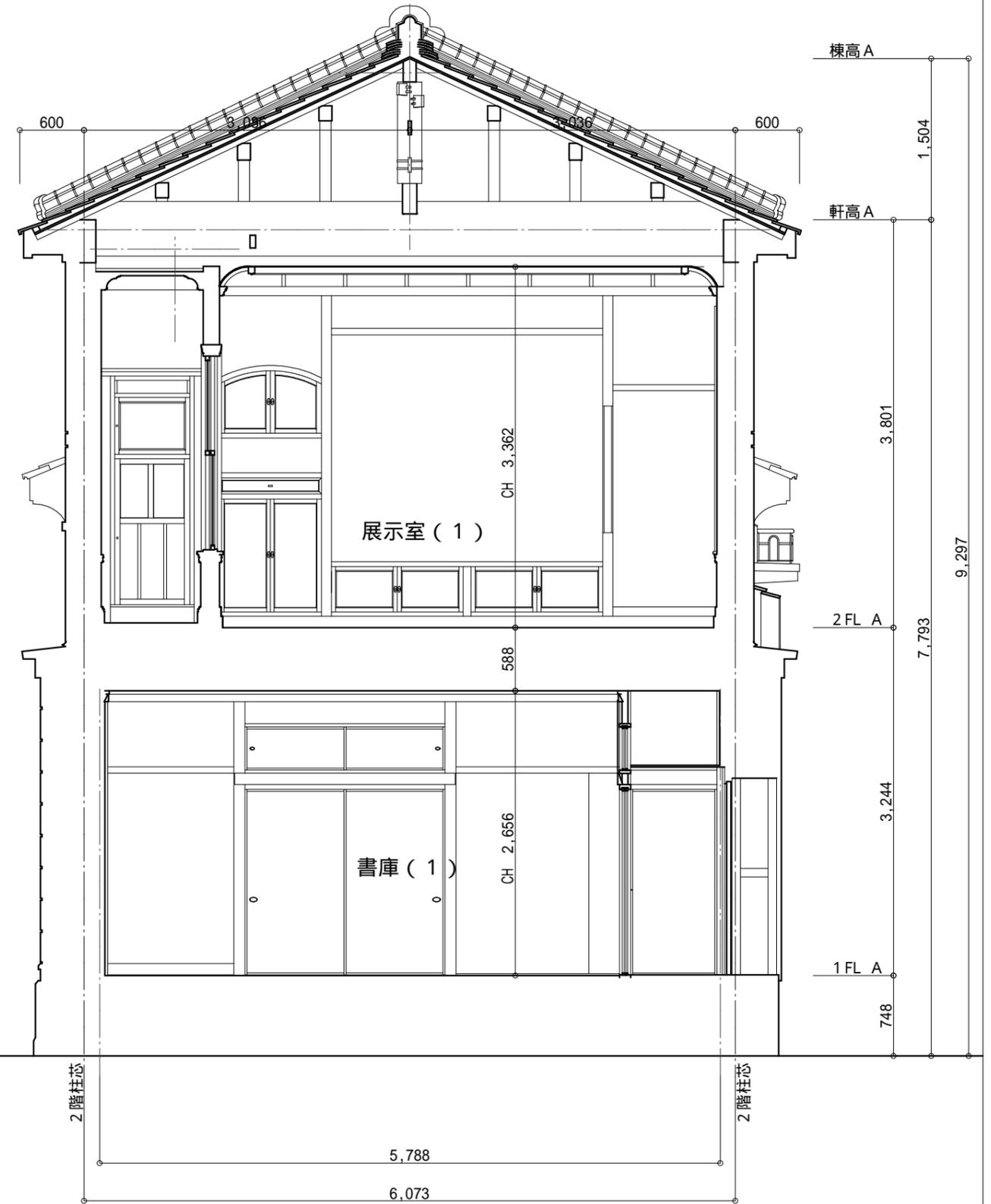
図面番号
7/27



Y2

現況 a断面図 (西棟 梁間方向)

Y1



Y1

現況 b断面図 (東棟 梁間方向)

Y2



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

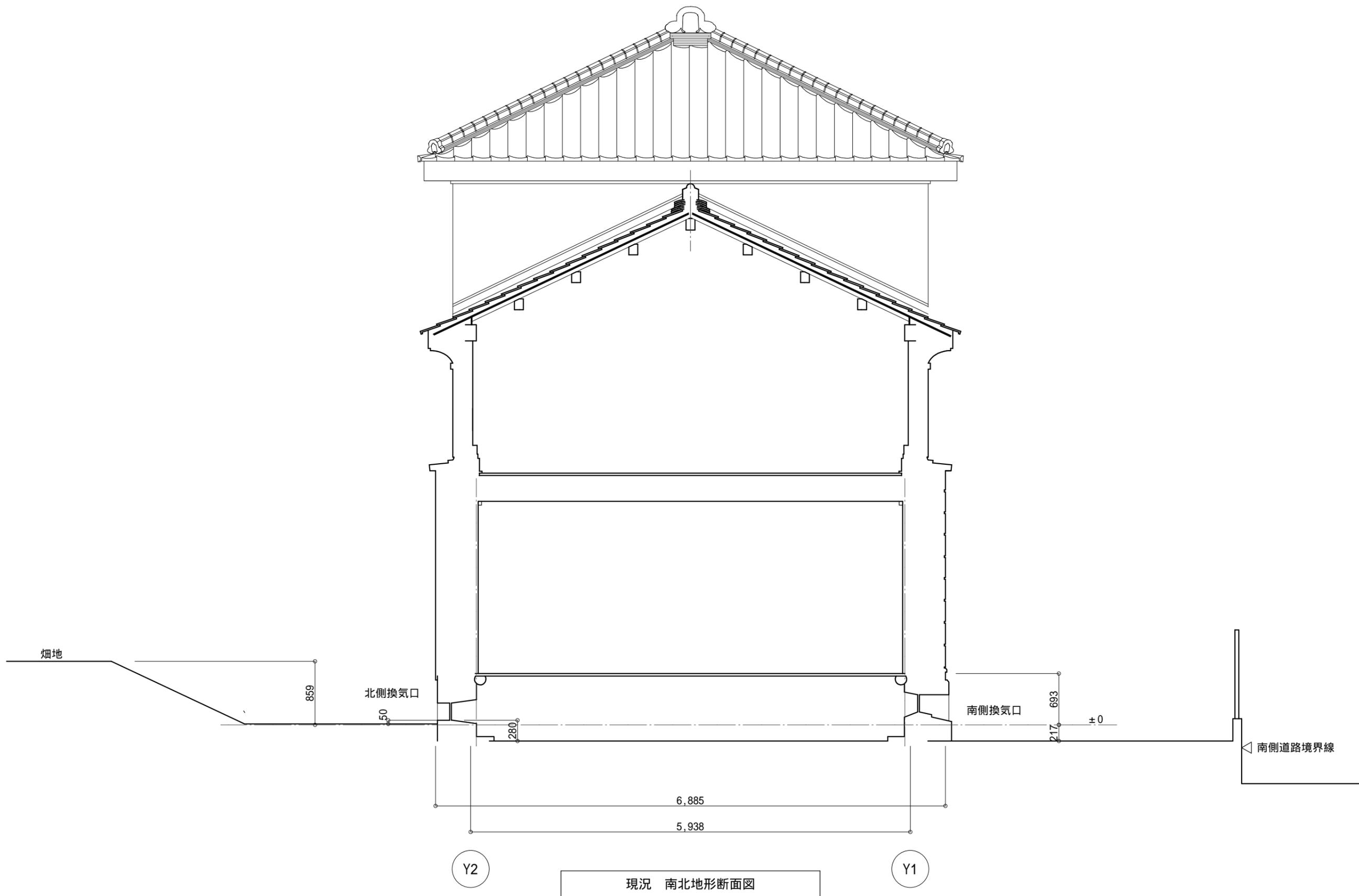
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
現況 断面図 (桁行方向)

図面番号
8 / 27



Y2

現況 南北地形断面図

Y1



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

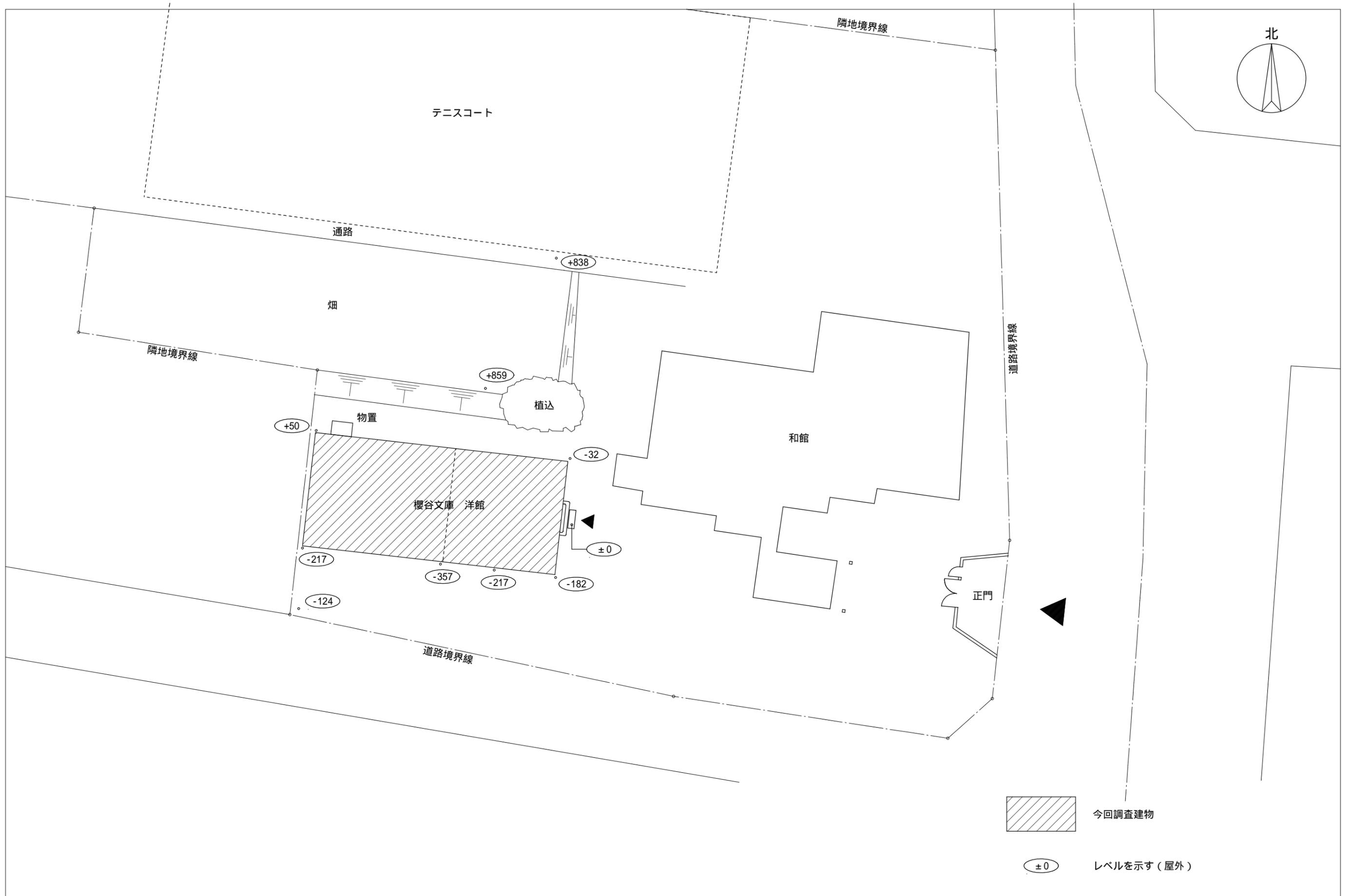
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
現況 南北地形断面図

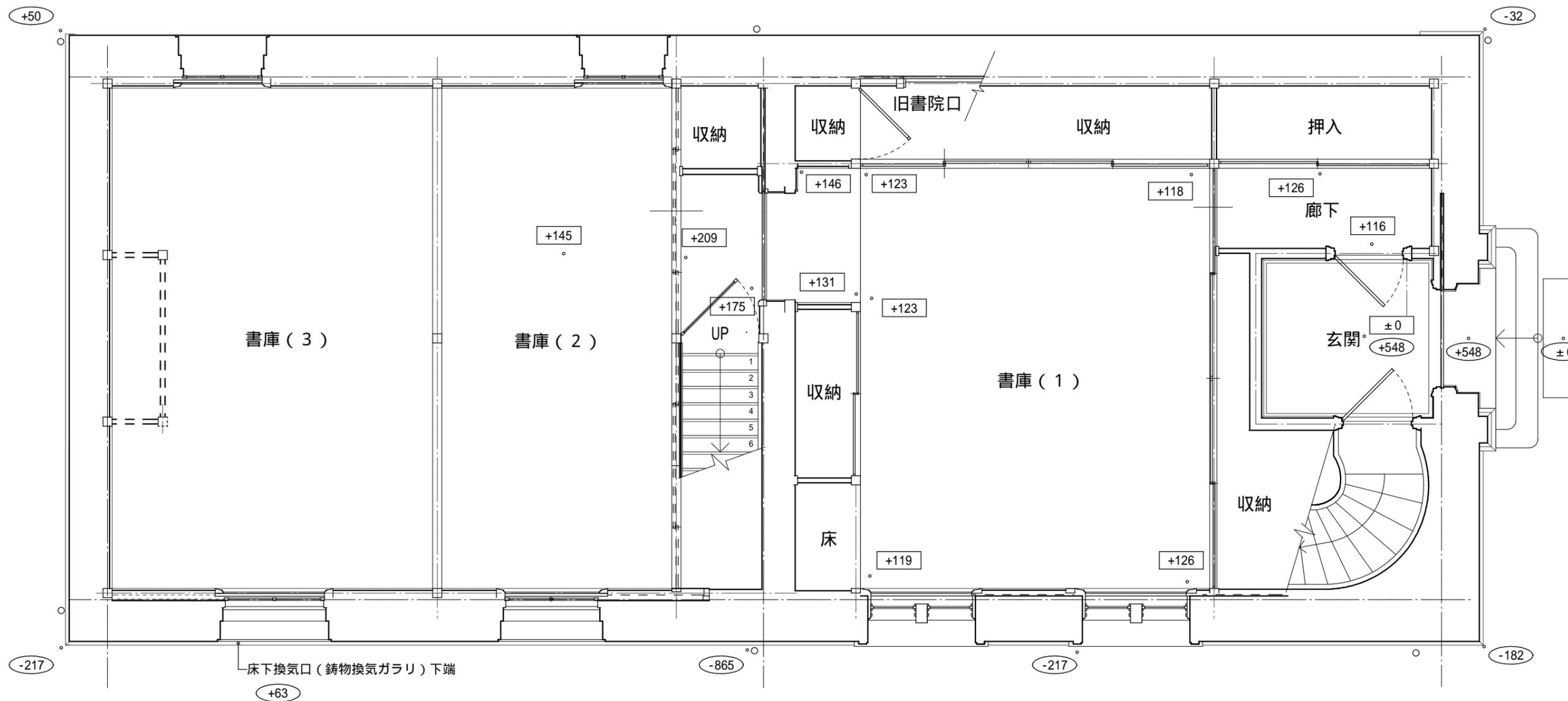
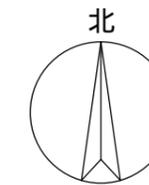
図面番号
10/27



今回調査建物



レベルを示す(屋外)



±0 レベルを示す (屋外基準)

±0 レベルを示す



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺

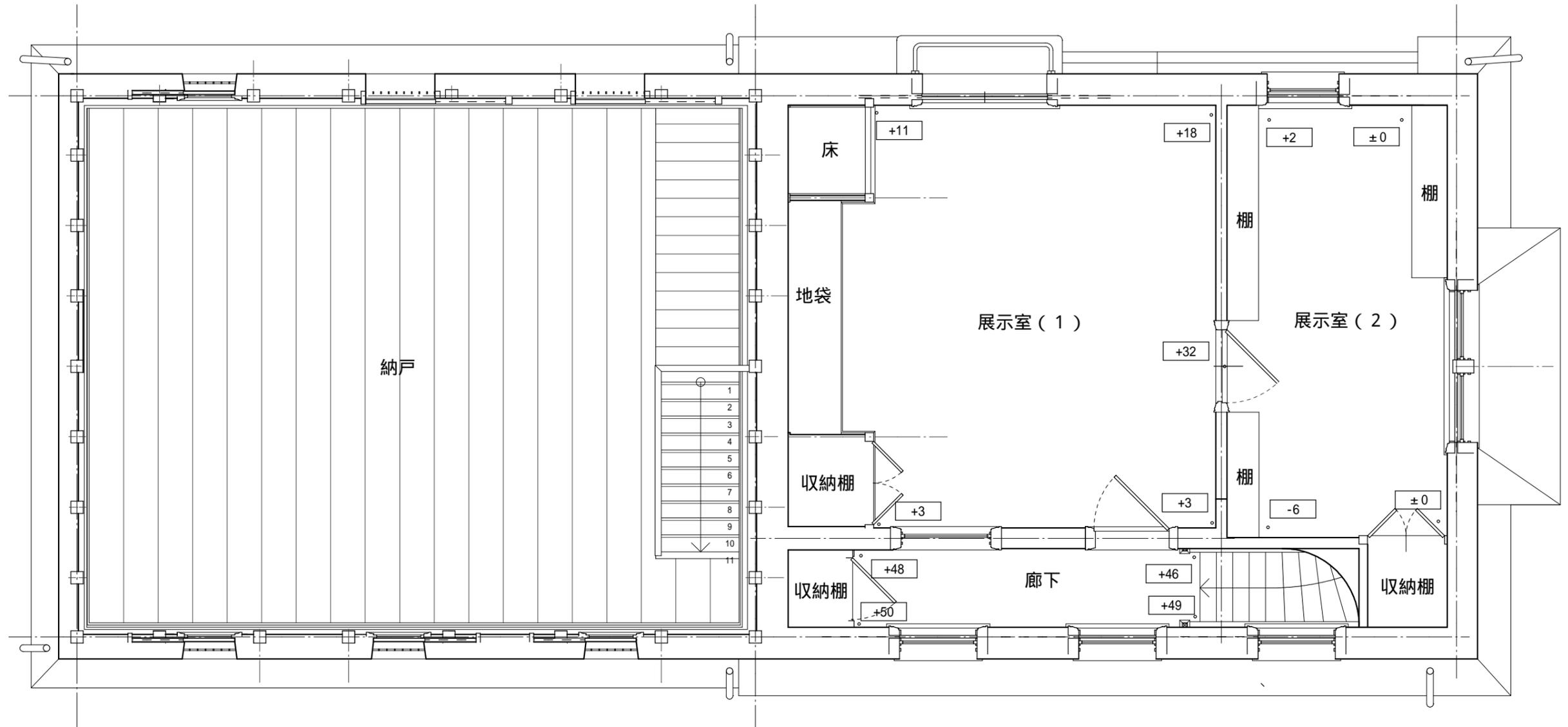
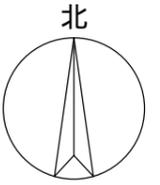
工事名称

図面番号

年月日
2019.10.25

洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
レベル1階平面図

12/27



±0 レベルを示す



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺

工事名称

洋館保全補修工事にかかわる破損調査

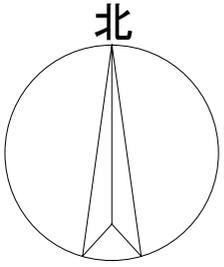
図面番号

年月日
2019.10.25

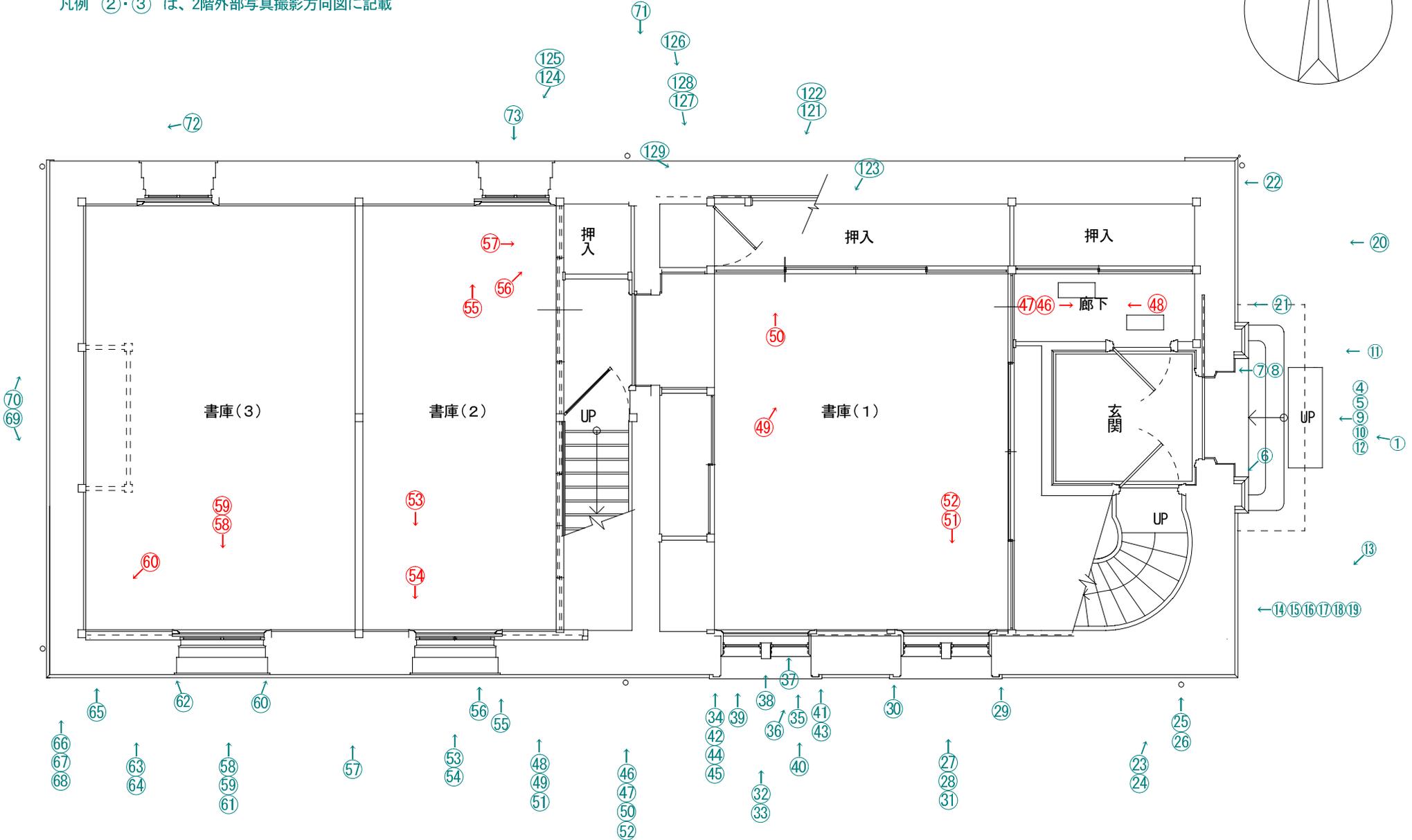
図面名称

レベル2階平面図

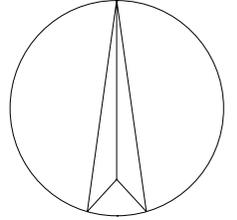
13/27



凡例 ④⑥ ~ ⑥⑩ 1階 1階内部写真撮影方向
 凡例 ①・④ ~ ⑦③ 1階 1階外部写真撮影方向
 凡例 ②・③ は、2階外部写真撮影方向図に記載

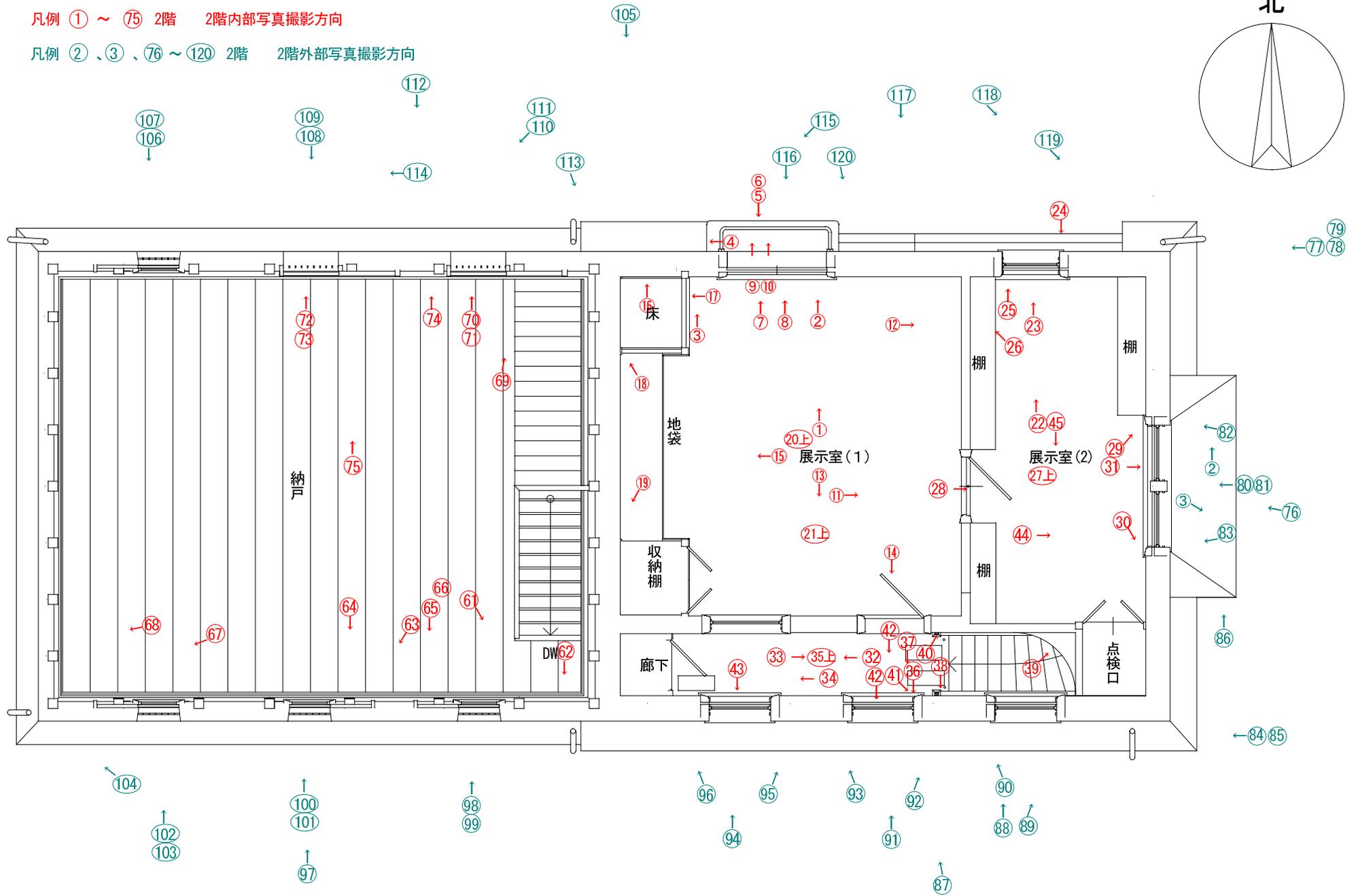


北



凡例 ① ~ ⑦⑤ 2階 2階内部写真撮影方向

凡例 ②、③、⑦⑥ ~ ①②① 2階 2階外部写真撮影方向



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

吉村文化の会設計室

〒605-0881 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50

年月日
2019.10.25

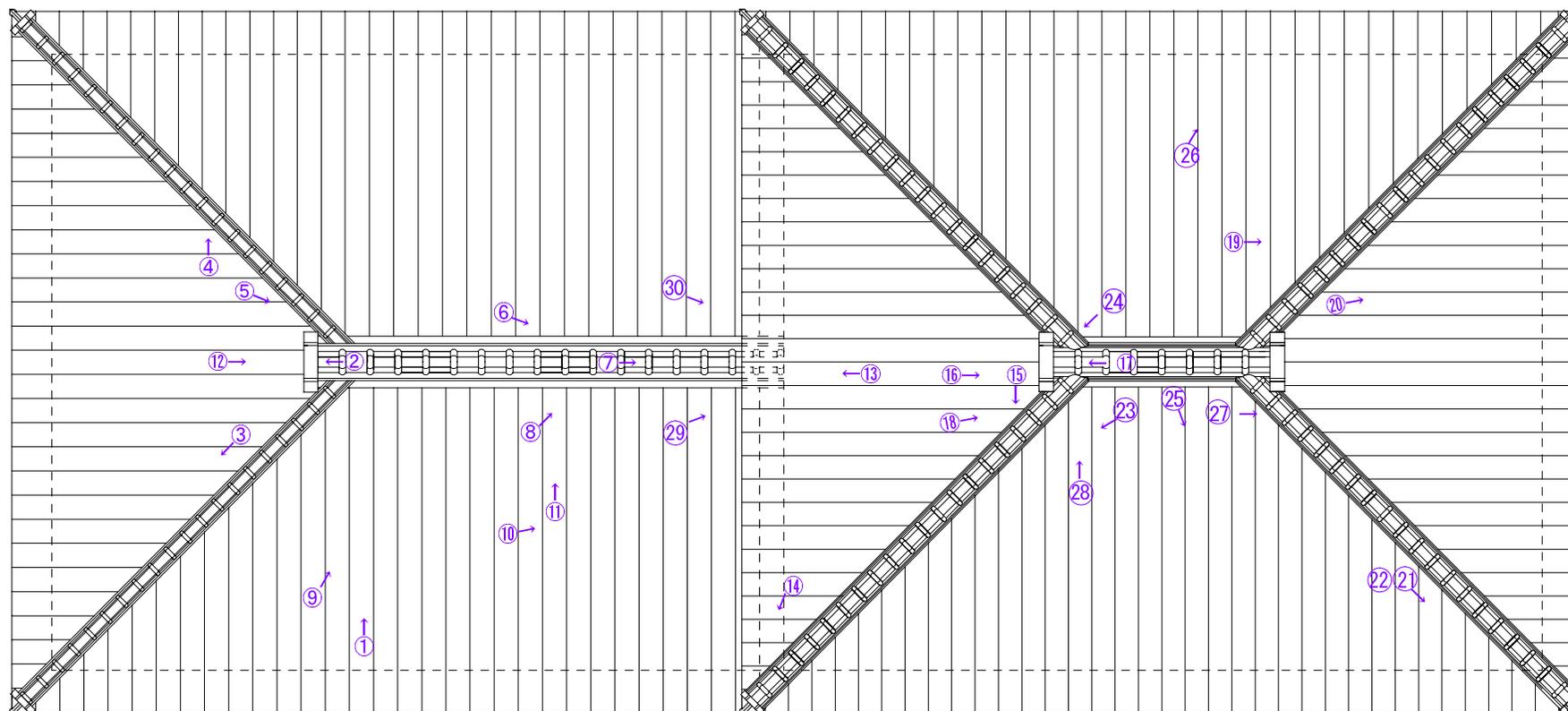
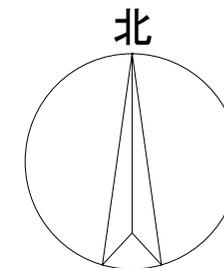
工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破壊調査

図面名称
2階写真撮影方向図

図面番号

15/27

凡例 ① ~ ⑩ 屋根 屋根写真撮影方向



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0881 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075) 532-2103 / FAX (075) 551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

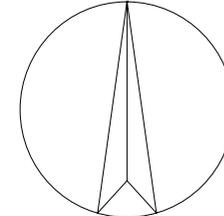
縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
屋根写真撮影方向図

図面番号

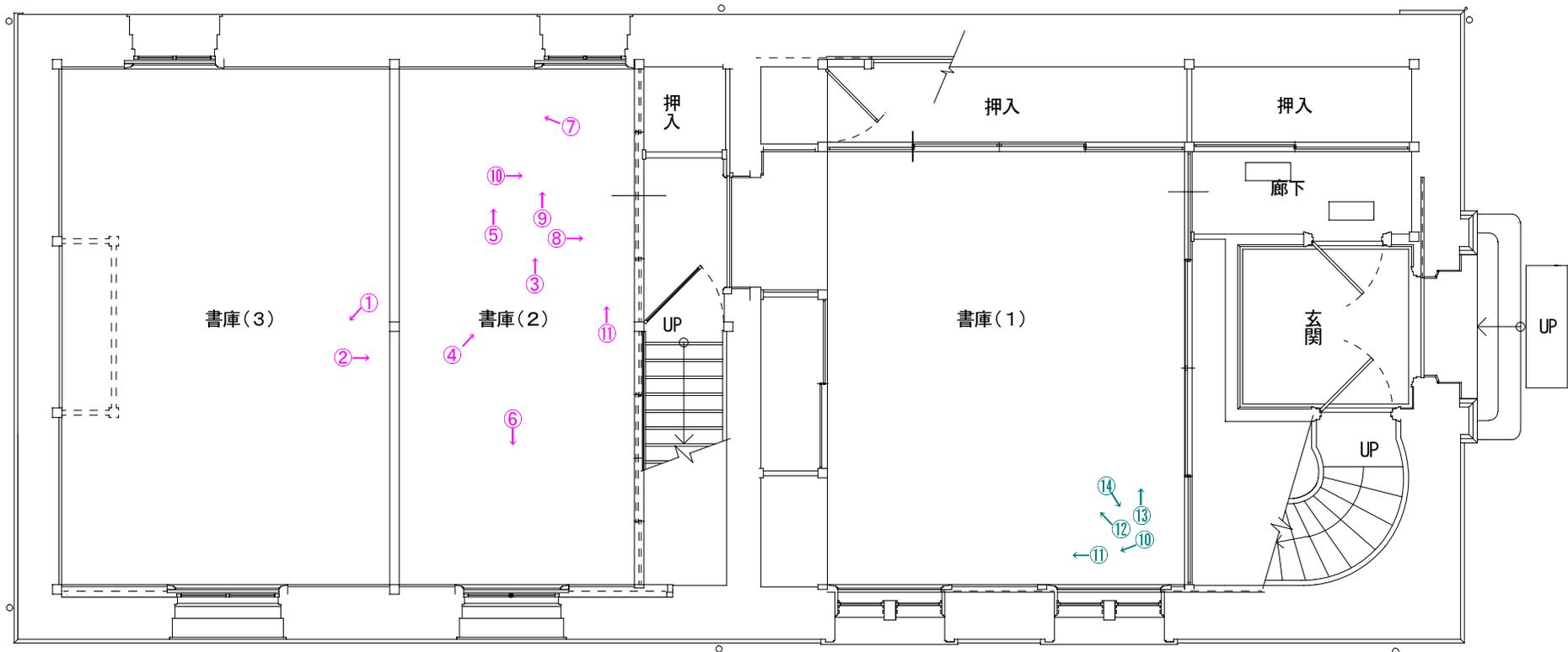
16/27

北

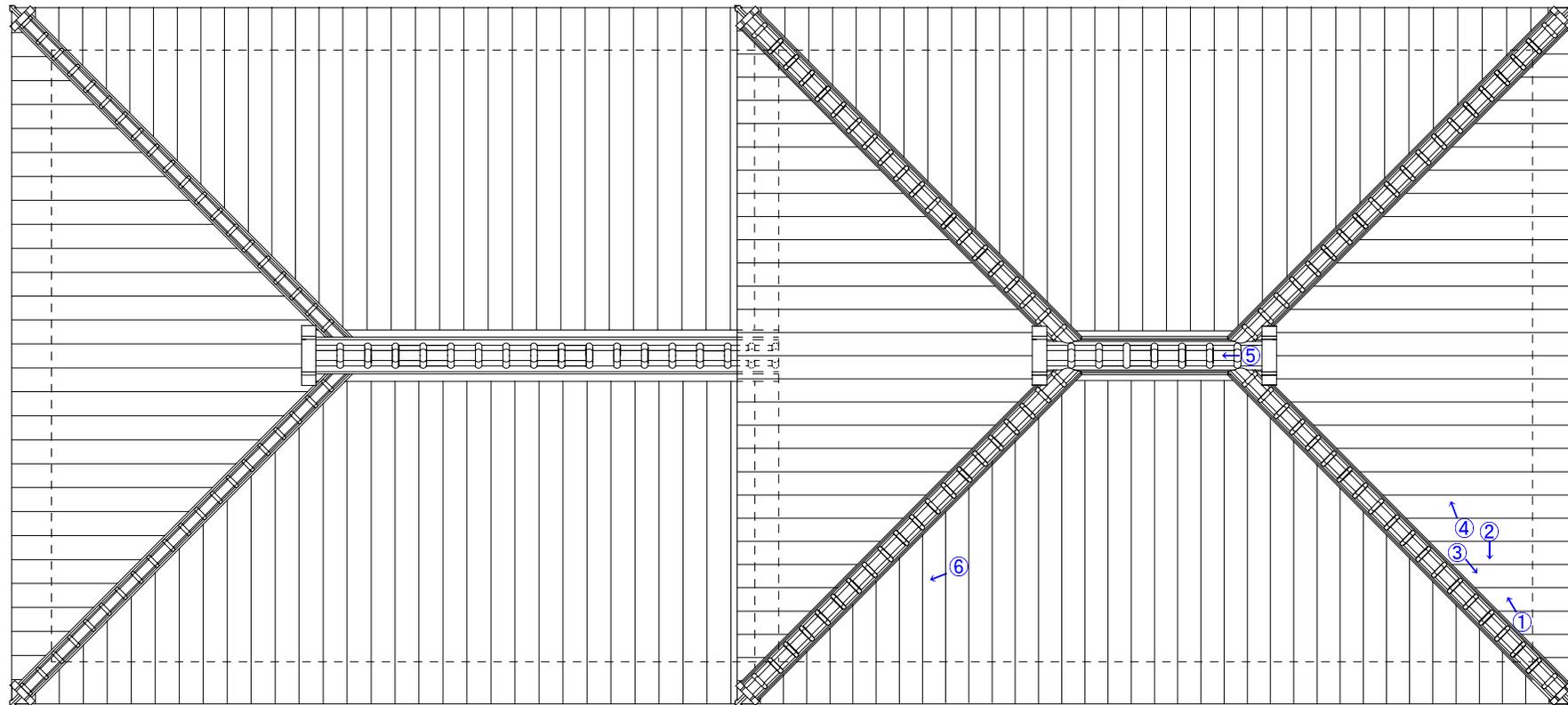
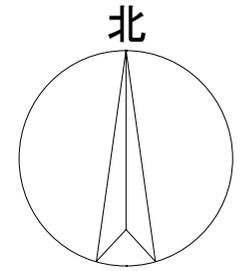


凡例 ① ~ ⑪ 床下 1階床下写真撮影方向

凡例 ⑩ ~ ⑭ 天井裏 1階天井裏写真撮影方向



凡例 ① ~ ⑥ 小屋裏 本館小屋裏写真撮影方向



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

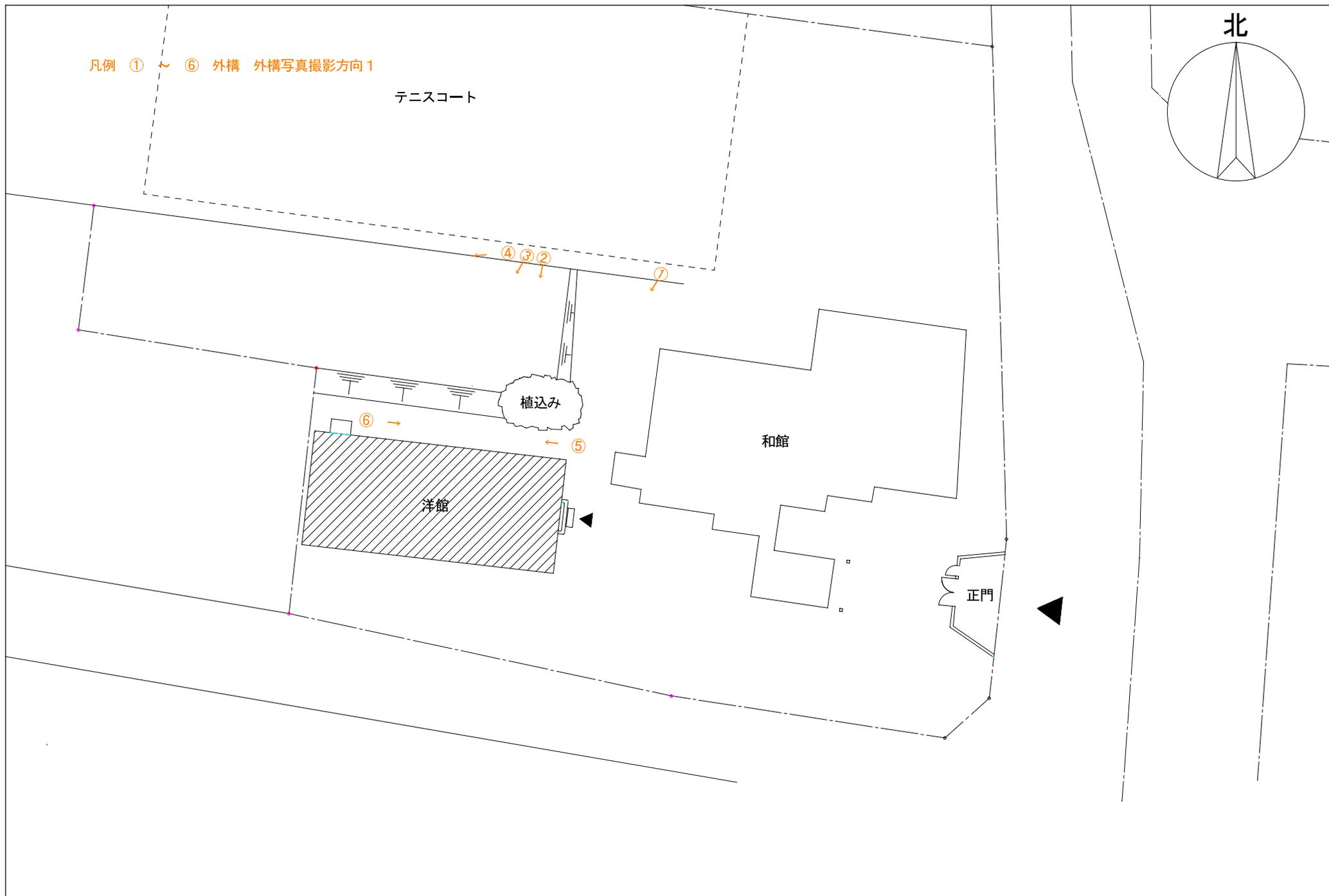
〒605-0861 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL. (075) 532-2103 / FAX (075) 551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

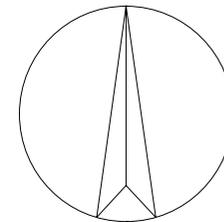
縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
小屋裏写真撮影方向図

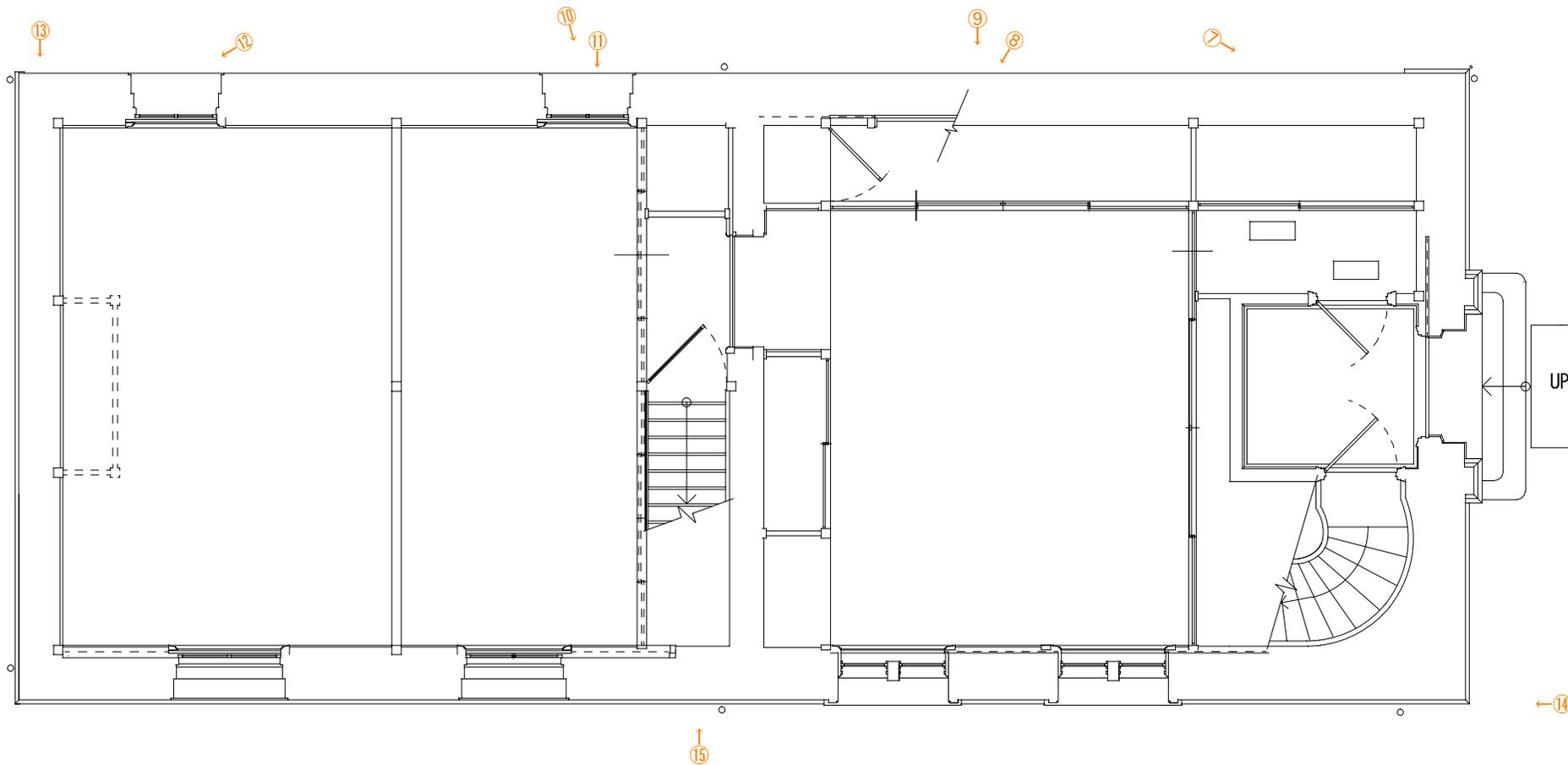
図面番号
18/27



北



凡例 ⑦ ~ ⑮ 外構 外構写真撮影方向 2



一級建築士事務所
 特定非営利活動法人 **古材文化の会設計室**
 〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
 TEL. (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 **櫻谷文庫 洋館**

縮尺
1/50
年月日
2019. 10. 25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
 図面名称
外構写真撮影方向図 2

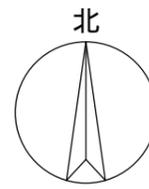
20/27

改修指示書（外構工事）

- 建物北側地盤掘削、その後碎石をまく
- 既設プレハブ物置を向きをかえて移動
- 雨水枡、雨水配管 撤去新設（1階平面図参照）

テニスコート

隣地境界線



通路

畑

プレハブ物置は向きをかえて移動

掘削（土は畑及び斜面にまく） $18.0 \times 2.0 \times 04 = 14.4\text{m}^3$
 その後碎石をまく（ $18.0 \times 2.0 \times 01 = 3.6\text{m}^3$ ）

隣地境界線

物置

植込

和館

櫻谷文庫 洋館

正門

道路境界線

道路境界線



今回調査建物



一級建築士事務所
 特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
 TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/250
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
改修計画配置図

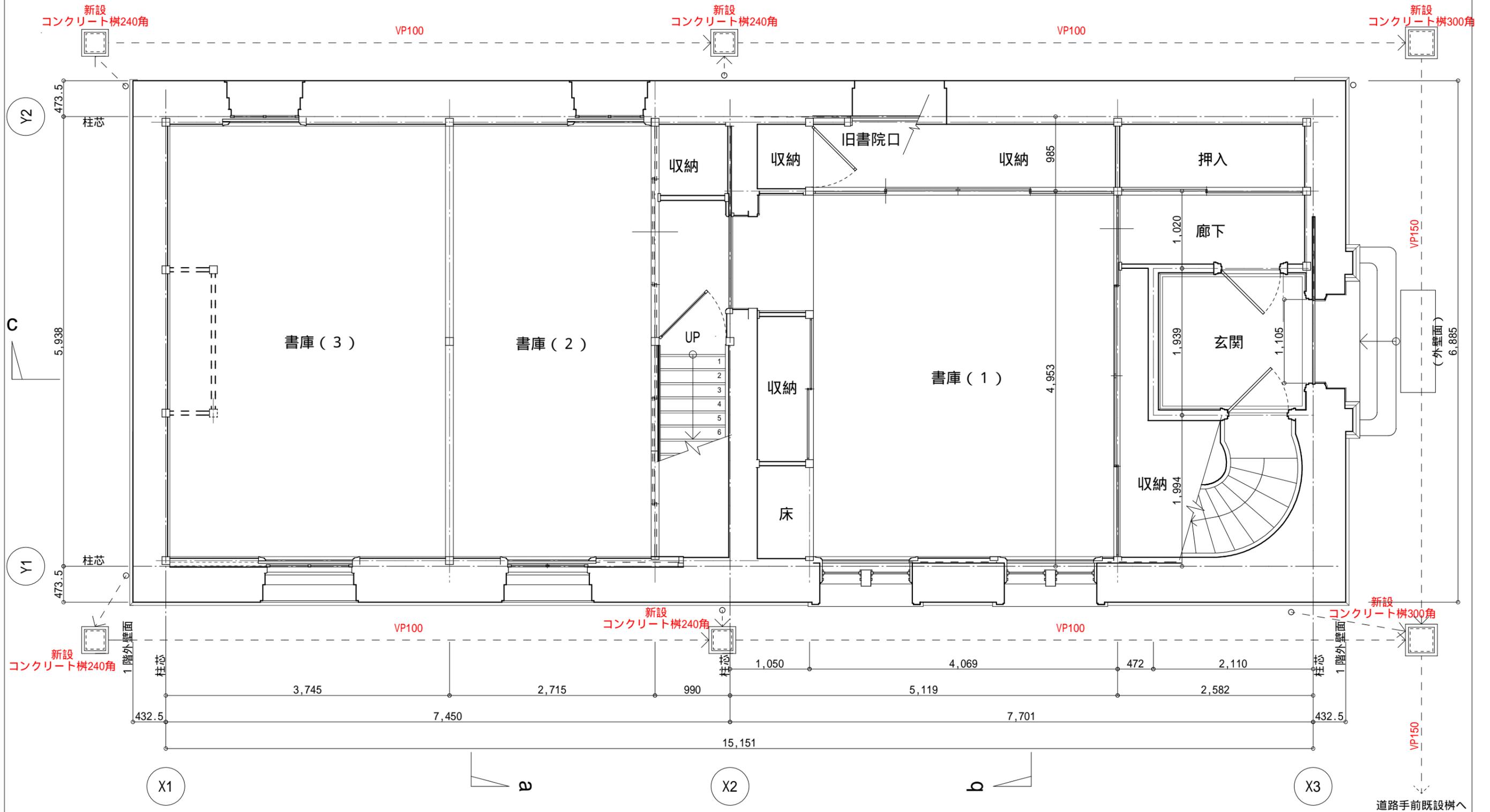
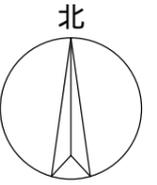
図面番号
21/27

改修指示書（外構工事）

市販コンクリート樹 240角4ヶ施工
 市販コンクリート樹 300角2ヶ施工
 排水パイプVP100及びVP150接続、及び樹と縦樋との接続
 既設樹及び排水管撤去処分

特記

屋内の壁面の亀裂については、緊急を要さないため、今回の改修計画に含めず
 屋内の壁面の漏水痕跡については、最近の漏水ではない様子なので、今回の改修計画に含めず



改修指示書（展示室（2）天井改修工事）

漆喰塗天井については、危険性を考慮して改修を行う。

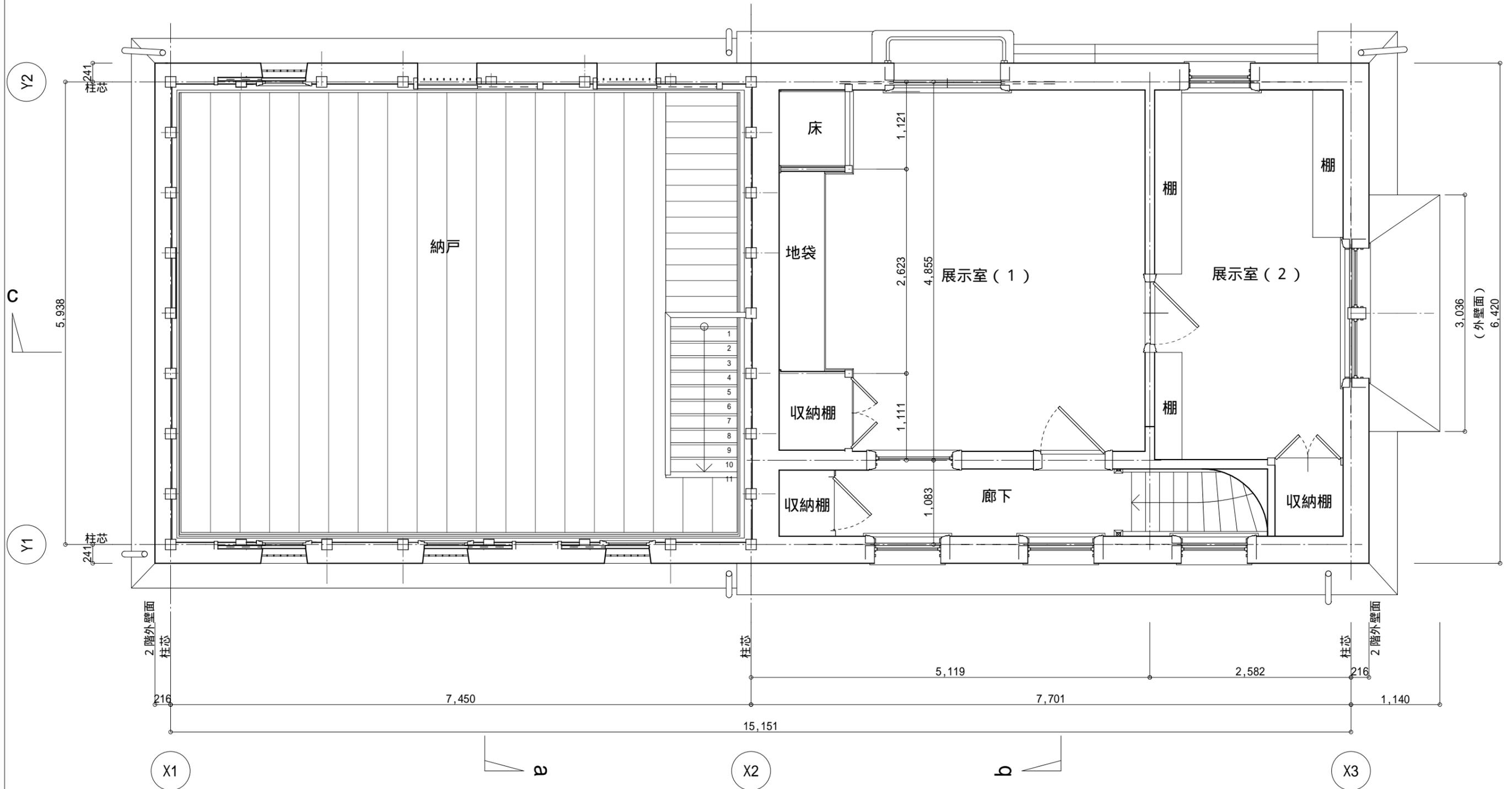
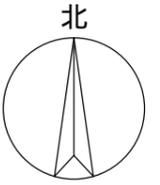
ひび割れ部分をVカットし、浮き場所にビス止め・Vカット詰め・ネット張り・砂漆喰下擦り、乾燥後、中塗り・漆喰上塗りをする。

特記

展示室（1）、展示室（2）、廊下において、壁面の漆喰壁の漏水痕跡や亀裂や隙間などは、緊急を要さないもので、今回の改修計画からは除外とする

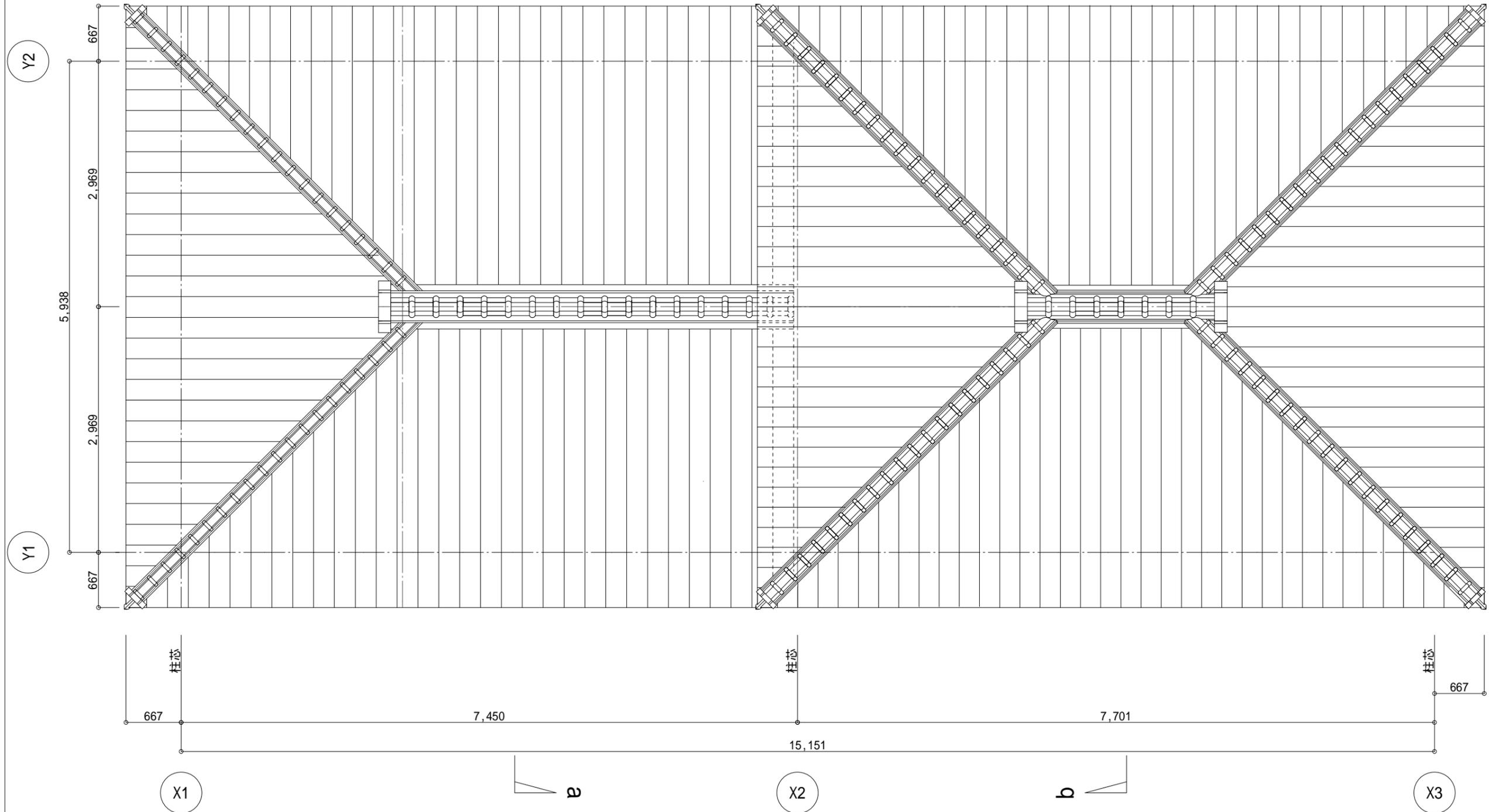
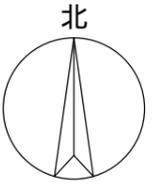
上下窓や引戸雨戸については、一部解体調査を行わないと積算不能のため、今回の改修計画からは除外とする
東面の庇と北面の窓台については、外壁の改修工事を行う時に軒裏に開口部を設けて内部の状況を確認した後に改修計画をたてる。

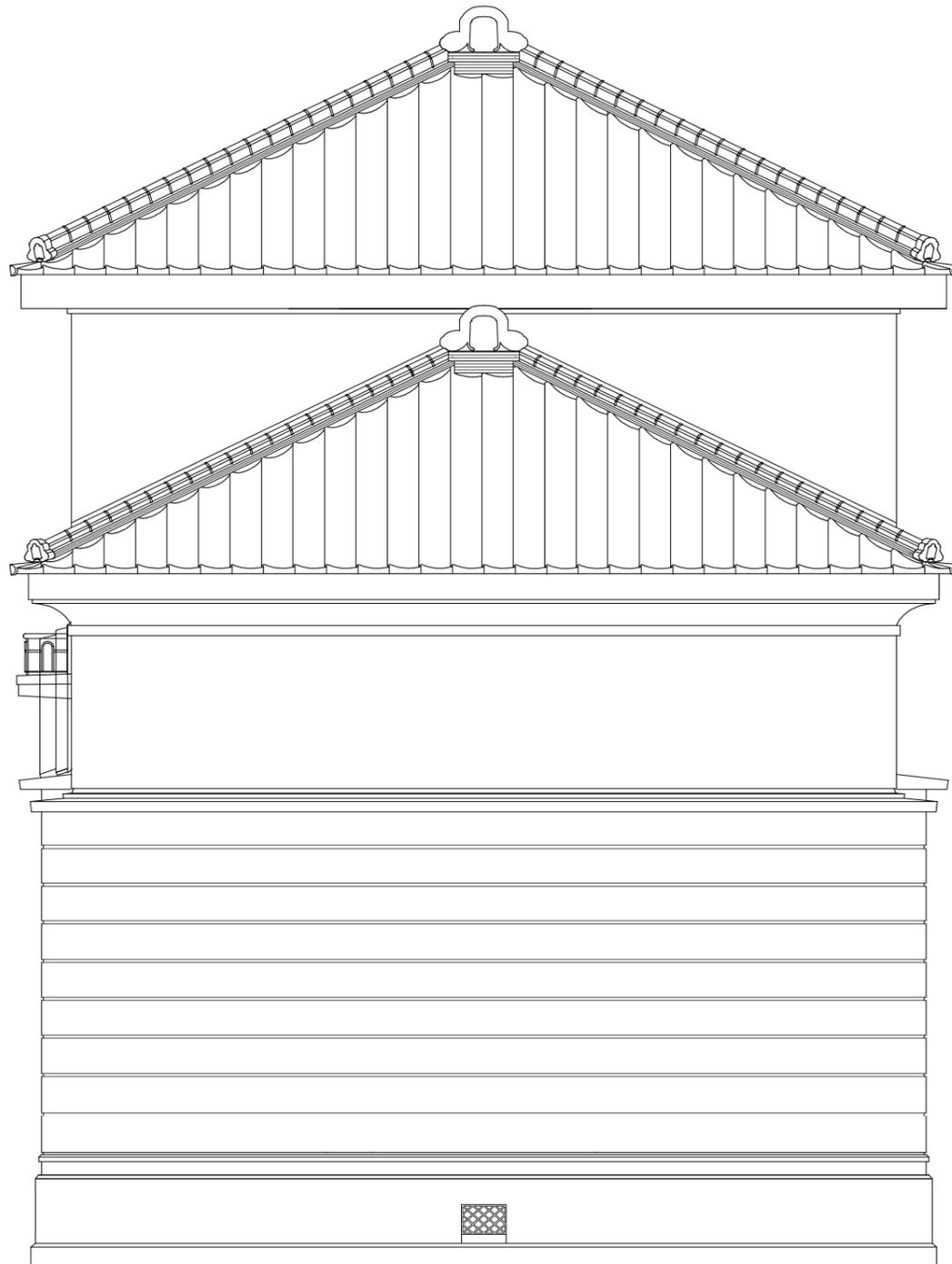
納戸の野地板や壁の漏水痕跡については、最近の漏水によるものではないように思われる。壁の隙間や梁の歪みも、特に早急に改修を要するものではないので、今回の改修計画からは除外する。



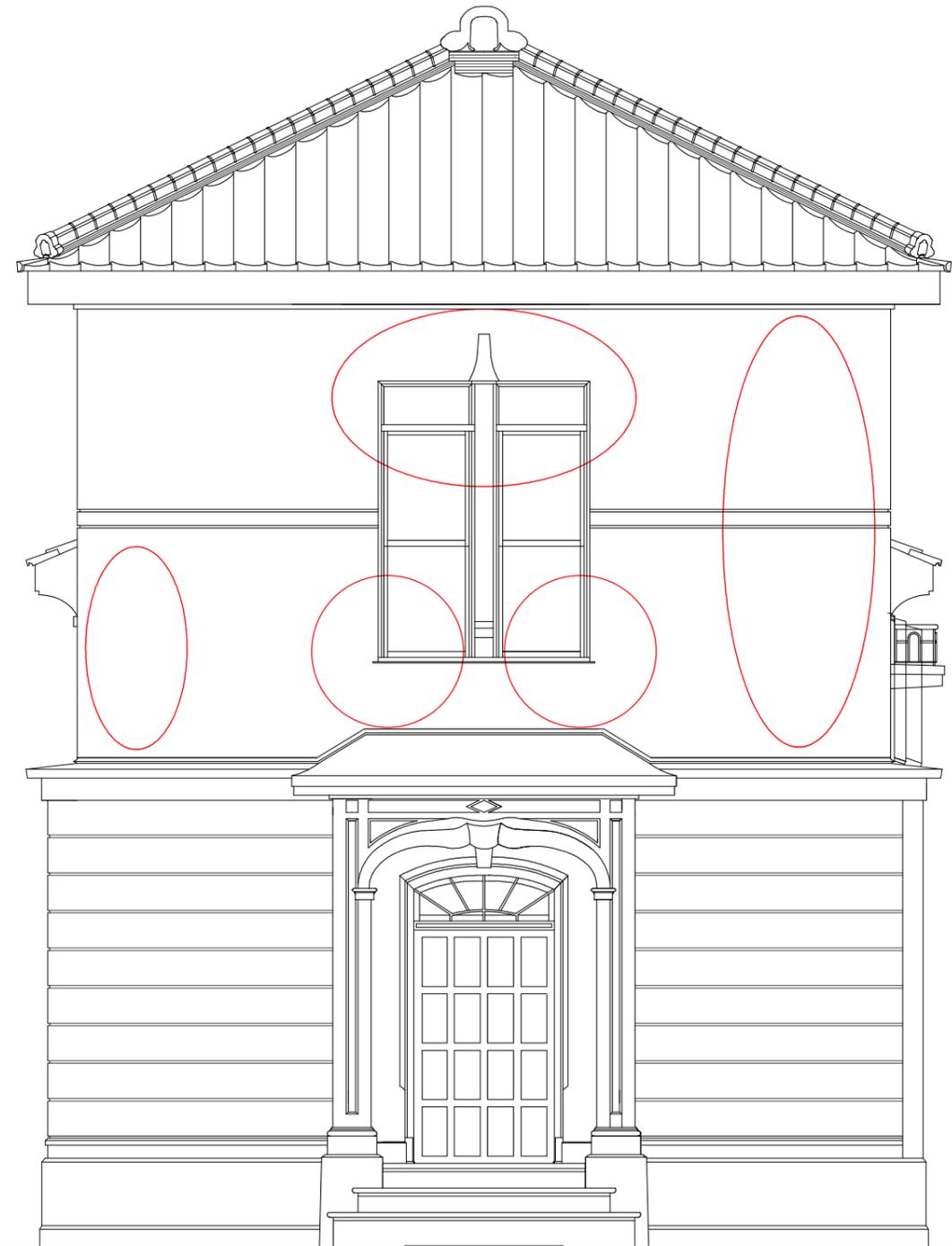
改修指示書（屋根工事、樋工事）

屋根については、築100年以上の経過もあり、今回の改修計画は全面改修とする
 既存瓦全て撤去、新設とする
 鬼瓦も基本全て撤去とするが、工事の際には、使用に耐えるものは使用する。新設鬼瓦は特注品とする
 棟瓦は、市販の棟瓦で類似しているものを採用する
 葺土や土塗部分やトントンの撤去後、野地板を確認
 発砲プラスチック断熱材t=50の上、補助垂木50角@455施工（既存の野地板から瓦までの寸法をここで下地調整とする）
 杉野地板t=15施工の後、遮熱ゴムアスファルトルーフィング
 引っかけ棧瓦施工。三州瓦53版、棟換気（地震に対処して棧瓦施工とする。断熱材使用）
 軒樋塩ビ半丸105、豎樋 60新設（既設樋撤去）





現況 西立面図



現況 東立面図

○ 2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所

改修指示書（外壁改修工事）

1期工事/2階外壁改修工事 2期工事/1階外壁改修工事

1階 東・西・南面 壁面

上塗り・中塗りをはがし、下地から浮いている部分は取り除く。

プライマー処理の後、生石灰モルタル下塗り・中塗り、色モルタル仕上げとする。

その間、目地処理も行う。

1階 玄関入口 柱型足元

中塗りを取り除き、生石灰モルタルで下擦りをし、中塗り、洗い出し仕上げとする。

2階 壁面

クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、全面しごき中塗りを

する。中塗りは生石灰モルタル、上塗りは色モルタル仕上げとする。

共通 台輪

1段・2段台輪とも、クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、中塗り、上塗りは色モルタル刷毛引き仕上げとする。

共通 ひび割れ繕い

ひび割れをVカットし、モルタル石詰め、洗い出し仕上げとする。



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

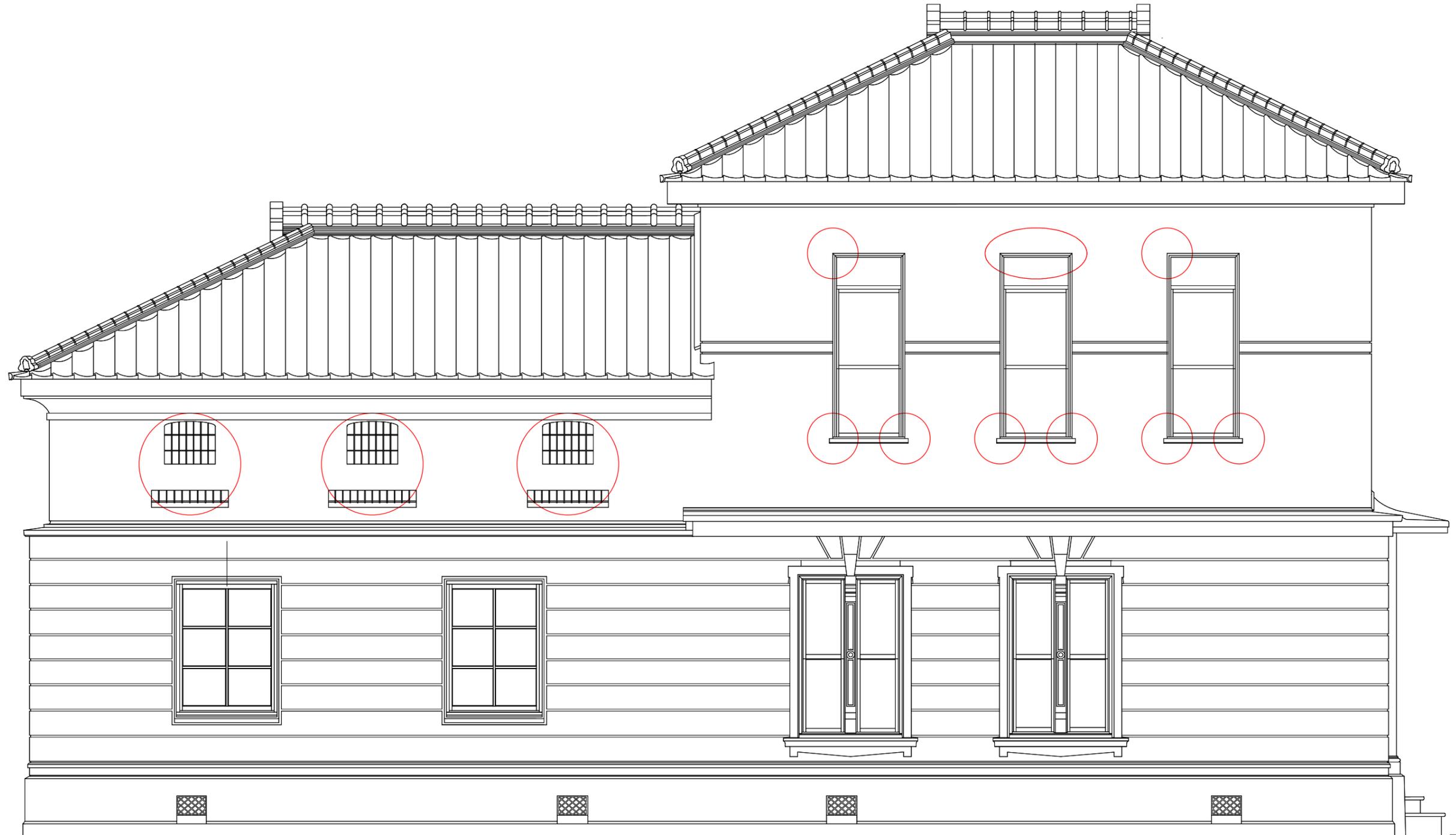
〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺
1/50
年月日
2019.10.25

工事名称
洋館保全補修工事にかかわる破損調査
図面名称
改修計画 西立面図 東立面図

図面番号
25/27



現況 南立面図

○ 2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所

改修指示書（外壁改修工事）

1期工事/2階外壁改修工事 2期工事/1階外壁改修工事

1階 東・西・南面 壁面

上塗り・中塗りをはがし、下地から浮いている部分は取り除く。

プライマー処理の後、生石灰モルタル下塗り・中塗り、色モルタル仕上げとする。

その間、目地処理も行う。

1階 玄関入口 柱型足元

中塗りを取り除き、生石灰モルタルで下擦りをし、中塗り、洗い出し仕上げとする。

2階 壁面

クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、全面しごき中塗りを

する。中塗りは生石灰モルタル、上塗りは色モルタル仕上げとする。

共通 台輪

1段・2段台輪とも、クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、中塗り、上塗りは色モルタル刷毛引き仕上げとする。

共通 ひび割れ繕い

ひび割れをVカットし、モルタル石詰め、洗い出し仕上げとする。



一級建築士事務所
特定非営利活動法人

古材文化の会設計室

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地
TEL (075)532-2103 / FAX (075)551-9811

公益財団法人 櫻谷文庫 洋館

縮尺

1/50

年月日

2019.10.25

工事名称

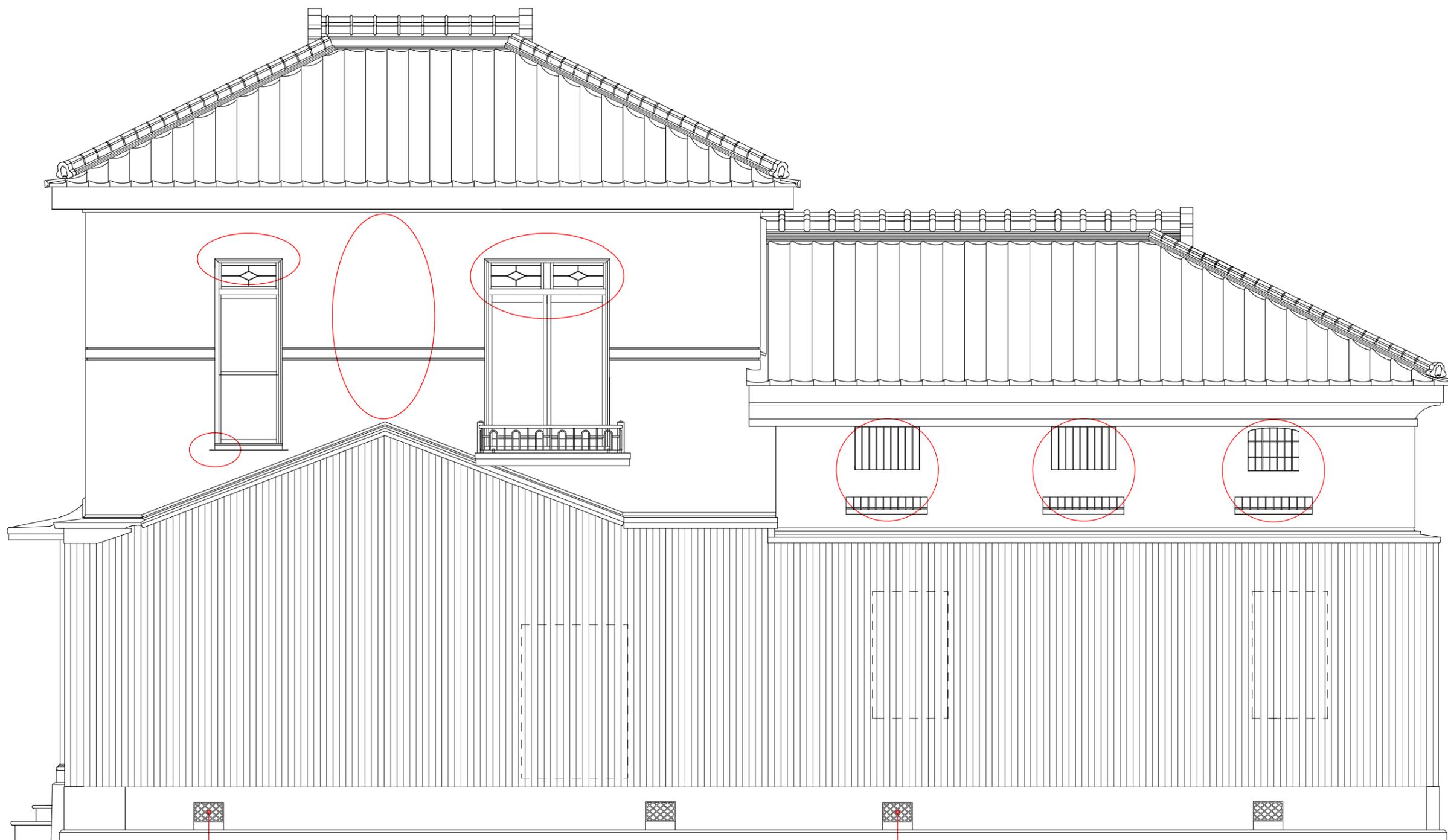
洋館保全補修工事にかかわる破損調査

図面名称

改修計画 南立面図

図面番号

26/27



配置図の外構改修計画により下がった地盤

換気口 土壁撤去

換気口 土壁撤去

現況 北立面図

2階外壁部分で特に下地補修が必要な箇所

改修指示書（外壁改修工事）
 1期工事/2階外壁改修工事 2期工事/1階外壁改修工事
 1階 東・西・南面 壁面
 上塗り・中塗りをはがし、下地から浮いている部分は取り除く。
 プライマー処理の後、生石灰モルタル下塗り・中塗り、色モルタル仕上げとする。
 その間、目地処理も行う。

1階 玄関入口 柱型足元
 中塗りを取り除き、生石灰モルタルで下擦りをし、中塗り、洗い出し仕上げとする。
 2階 壁面
 クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、全面しごき中塗りをする。中塗りは生石灰モルタル、上塗りは色モルタル刷毛引きとする。

共通 台輪
 1段・2段台輪とも、クラックをVカットし、目地詰めをした後、ネット張りをし、中塗り、上塗りは色モルタル刷毛引き仕上げとする。
 共通 ひび割れ繕い
 ひび割れをVカットし、モルタル石詰め、洗い出し仕上げとする。

撮影日時	令和 1 年 7 月 27 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
1	下屋根北方向を撮影	
		特記事項 赤丸部分の瓦に損傷有り 瓦自体の塩害による亀裂などにより凍害が進行している(後述の凍害も同様)

番号	部 位	項 目
2	下屋根鬼瓦付近	
		特記事項 漆喰が落ちている部分がある 漆喰の施工不良と思われる

番号	部 位	項 目
3	下屋根南西棟付近	
		特記事項 赤丸部分の瓦に損傷有り(凍害)

撮影日時	令和 1 年 7 月 27 日		
番号	部	位	項 目
4	下屋根北東棟付近		
		特記事項 赤丸部分の瓦に損傷有り(凍害)	

番号	部	位	項 目
5	下屋根鬼瓦付近		
		特記事項 赤丸部分の瓦に損傷有り(凍害)	

番号	部	位	項 目
6	下屋根棟付近		
		特記事項 赤丸部分の瓦に損傷有り(凍害)	

撮影日時	令和 1 年 7 月 27 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
7	下屋根棟付近	

	特記事項

番号	部 位	項 目
8	NO7写真拡大	

	特記事項
	棟瓦の一部に損傷が見られる(凍害)

番号	部 位	項 目
9	下屋根南面(東寄り)	

	特記事項
	瓦土の下に土の層が確認できる

撮影日時	令和 1 年 7 月 27 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
10	下屋根南面	
		特記事項 赤丸部分の瓦に亀裂が見える

番号	部 位	項 目
11	下屋根棟の状況(南面)	
		特記事項

番号	部 位	項 目
12	下屋根鬼瓦	
		特記事項

撮影日時	令和 1 年 7 月 27 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
13	上屋根西面	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
14	上屋根南西棟	
		特記事項 鬼瓦の裏面が損傷している <hr/>

番号	部 位	項 目
15	上屋根南西棟	
		特記事項 赤丸部分の棟瓦がずれている <hr/>

	令和 1 年 7 月 27 日		

番号	部 位	項 目		
16	上屋根鬼瓦			
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black;">特記事項</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"></td> </tr> </table>	特記事項	
特記事項				



番号	部 位	項 目			
17	上屋根鬼瓦上部				
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black;">特記事項</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;">しっくいが落下している</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black;">鷹振が凍害</td> </tr> </table>	特記事項	しっくいが落下している	鷹振が凍害
特記事項					
しっくいが落下している					
鷹振が凍害					



番号	部 位	項 目		
18	上屋根南面			
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border-top: 1px dashed black;">特記事項</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;">赤丸部分のノシ瓦が落下している</td> </tr> </table>	特記事項	赤丸部分のノシ瓦が落下している
特記事項				
赤丸部分のノシ瓦が落下している				



	令和 1 年 7 月 27 日		
番号	部	位	項 目
19	上屋根北面		
			特記事項

番号	部	位	項 目
20	上屋根東面		
			特記事項
			赤丸部分の瓦に損傷有り
			瓦表面の剥離

番号	部	位	項 目
21	上屋根南東棟及び南面		
			特記事項
			瓦のズレが目立つ

	令和 1 年 7 月 27 日		

番号	上 屋 根 南 面	特記事項
22	NO21写真拡大	
		<p>一部新しい瓦も見える</p> <hr/> <p>瓦のかみ合わせ不良</p>

番号	部 位 ・ 項 目	特記事項
23	上屋根南西流れ棟中程	
		<p>赤丸部分のノシ瓦に損傷有り(凍害割れ)</p>

番号	部 位 ・ 項 目	特記事項
24	上屋根北西流れ棟交点	
		<p>赤丸部分のノシ瓦に損傷有り(凍害)</p>

	令和 1 年 7 月 27 日		

番号	部 位	項 目
25	上屋根南面	
		特記事項

番号	部 位	項 目
26	上屋根北面	
		特記事項

番号	部 位	項 目
27	上屋根南東流れ棟交点	
		特記事項

	令和 1 年 7 月 27 日		

番号	部 位	項 目
28	上屋根鬼瓦(西)	
		特記事項
		鬼瓦前傾斜

番号	部 位	項 目
29	下屋根南面	
		特記事項

番号	部 位	項 目
30	下屋根北面	
		特記事項

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
1	1階東面外壁	
		<p>特記事項</p> <hr/>

番号	部 位	項 目
2	NO1写真底北東角(上部より撮影)	
		<p>特記事項</p> <hr/> <p>赤丸部分の玄関底上部北東角に亀裂(最大6.0ミリ)が発生し補修痕跡も目立つ</p> <hr/>

番号	部 位	項 目
3	NO1写真底中央から南東角(上部より撮影)	
		<p>特記事項</p> <hr/> <p>赤矢印部分に亀裂(最大2.5ミリ)が発生</p> <hr/>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		
番号	部	位	項 目
4	1階東面外壁(玄関入口部分)		
			特記事項
			<p>木製引戸(鋼板貼り)の開閉が大変重い(戸車の不良が考えられる)</p> <p>木製引戸(鋼板貼り)の鋼板部分の錆が目立つ</p>

番号	部	位	項 目
5	NO4欄間部分		
			特記事項
			<p>木製枠部分の塗装が剥がれ生地 が剥き出しになっている</p> <p>鋼製格子の錆が目立つ</p>

番号	部	位	項 目
6	玄関入口左部分の柱型足元		
			特記事項
			<p>巾木の上の左官部分に浮きによる 剥離が見られる</p>

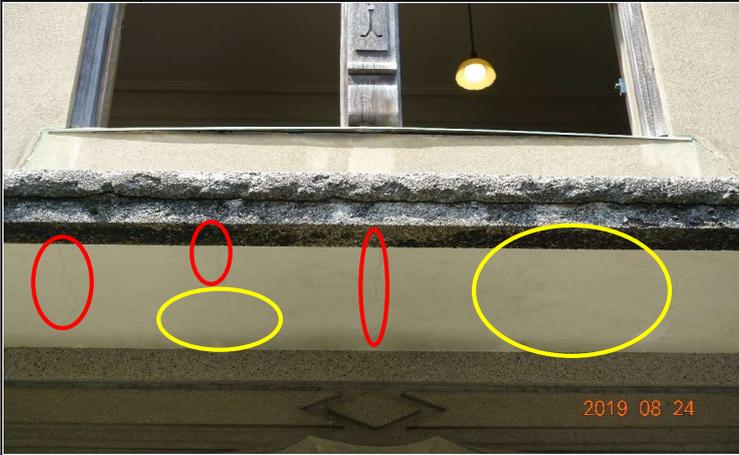
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
7	玄関入口右部分の柱型足元	
		<p>特記事項</p> <p>巾木の上の左官部分に浮きが見られる</p>

番号	部 位	項 目
8	玄関入口右部分の柱型中央	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官部分に細い亀裂が発生</p>

番号	部 位	項 目
9	1階東面玄関上庇	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の底の左右の外壁に雨水による汚れ染みが目立つ</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
10	NO9写真底部分拡大	
		<p>特記事項</p> <p>底上部が左官による仕上げの為に先端部分の劣化が激しい</p> <p>軒裏の左官部分にも赤丸部分の亀裂や黄色丸部分の雨染みが発生</p>

番号	部 位	項 目
11	同上北東角部分	
		<p>特記事項</p> <p>同上</p> <p>同上</p>

番号	部 位	項 目
12	同上底見上げ	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分のアルミコーティング左官コーダー部分にも亀裂(最大0.5ミリ)が発生</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
13	1階東面玄関左部分	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官外壁の損傷が激しい</p>

番号	部 位	項 目
14	NO13写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>外壁左官仕上部分に浮きや亀裂(最大0.7ミリ)が目立つ</p> <p>巾木左官仕上げ部分にも亀裂(最大0.5ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
15	NO13写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官外壁に浮きや亀裂(最大2.5ミリ)が発生</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
16	NO13写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁左官仕上部分に浮きや亀裂(最大3.0ミリ)が目立つ</p>

番号	部 位	項 目
17	同上	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁左官仕上部分に浮きや亀裂(最大2.5ミリ)が目立つ</p>

番号	部 位	項 目
18		
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁左官仕上部分に浮きや亀裂(最大0.6ミリ)が目立つ</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
19	同上	
		特記事項 赤丸部分の外壁左官仕上部分に浮きや亀裂(最大0.4ミリ)が目立つ 2019 08 24

番号	部 位	項 目
20	1階東面玄関右部分	
		特記事項 赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.2ミリ)が発生、補修痕跡有り 2019 08 24

番号	部 位	項 目
21	NO20写真左側足元	
		特記事項 赤丸部分に多数の亀裂(最大2.0ミリ)が発生 2019 08 24

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
22	NO20写真右側足元	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分に多数の亀裂(最大1.2ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
23	1階南面(階段部分)外壁	
		<p>特記事項</p>

番号	部 位	項 目
24	同上下部	
		<p>特記事項</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
25	NO23写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の縦樋取り付け金物付近の外壁に亀裂(最大0.5ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
26	NO24写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁に多数の亀裂(最大0.3ミリ)や剥離が発生</p>

番号	部 位	項 目
27	1階南面(書庫1)右側窓上部	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印部分の外壁に亀裂(最大0.15ミリ)が発生</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
28	NO27写真下部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の巾木部分に亀裂(最大1.5ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
29	NO28写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の右側の窓台コーナーに浮きや剥離が発生</p>

番号	部 位	項 目
30	NO28写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左側の窓台コーナーに浮きや剥離が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
31	NO28写真拡大	
		特記事項 ----- 赤丸部分の巾木部分に亀裂(最大1.0ミリ)が発生 -----

番号	部 位	項 目
32	1階南面(書庫1)左側窓上部	
		特記事項 ----- -----

番号	部 位	項 目
33	同上下部	
		特記事項 ----- -----

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
34	NO32写真左側上部	
		特記事項 赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.25ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
35	同上右側	
		特記事項 赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.2ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
36	No32写真右側中央	
		特記事項 赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.35ミリ)が発生 赤矢印部分の木建柱と左官壁との間に隙間が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
37	NO32写真窓台右側	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の木建柱の下端と左官窓台との間に隙間が発生</p> <p>左官窓台の屋外側には細かい亀裂や雨染みが発生</p>

番号	部 位	項 目
38	NO32写真窓台中央	
		<p>特記事項</p> <p>同上又赤丸部分の窓台には亀裂(最大0.3ミリ)が発生</p> <p>同上</p>

番号	部 位	項 目
39	NO32写真左側上部	
		<p>特記事項</p> <p>木建柱と左官部分には隙間が発生</p> <p>左官部分窓枠上部に雨染みが発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
40	NO32写真右側上部	
		特記事項 同上
		同上

番号	部 位	項 目
41	NO33写真右側窓台拡大	
		特記事項 赤丸部分の左官窓台に劣化が見られる

番号	部 位	項 目
42	NO33写真左側窓台拡大	
		特記事項 赤丸部分の窓台や壁に亀裂(最大0.25ミリ)や剥離が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
43	NO33写真右側拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官ボーダーに亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
44	NO33写真左側拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官ボーダーに亀裂(最大2.0ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
45	NO33写真左下部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官巾木に亀裂(最大0.7ミリ)が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

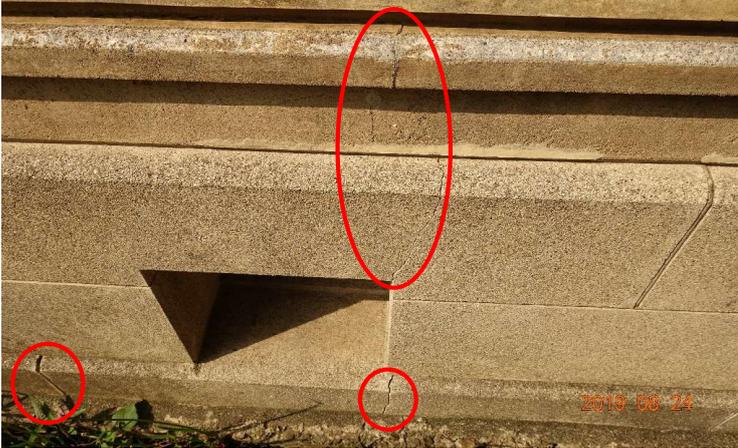
番号	部 位	項 目
46	1階南面(裏階段部分)外壁上部	
		特記事項

番号	部 位	項 目
47	1階南面(裏階段部分)外壁下部	
		特記事項

番号	部 位	項 目
48	NO46写真左上上部外壁	
		特記事項
		赤丸部分に過去にあった窓の痕跡が見られる。

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
49	NO48写真下部外壁	
		特記事項 赤丸部分の補修以前の左官外壁に浮きや亀裂(最大0.15ミリ)が目立つ

番号	部 位	項 目
50	NO49写真右側部分外壁	
		特記事項 赤丸部分の補修以前の左官外壁に浮きや亀裂(最大0.3ミリ)が目立つ

番号	部 位	項 目
51	NO47写真拡大巾木	
		特記事項 赤丸部分の左官巾木やボーダーに亀裂(最大2.0ミリ)が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
52	NO47写真拡大縦樋足元	
		<p>特記事項</p> <p>縦樋と土管が外れていて排水ができていない</p> <p>周辺に雨水が溢れるため浸透 舂のような物を設置</p>

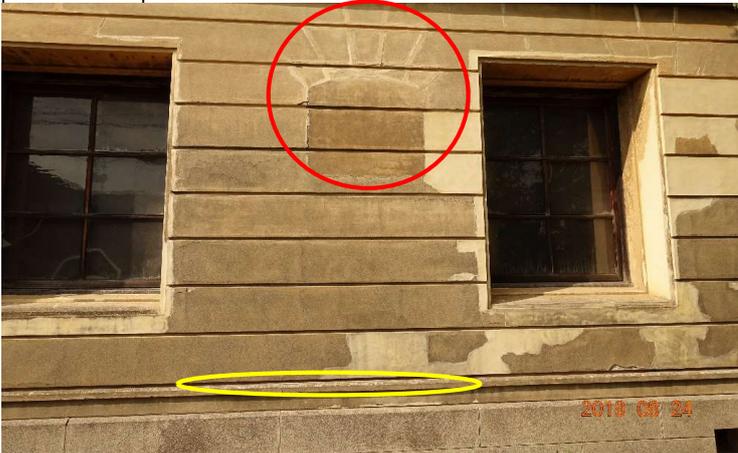
番号	部 位	項 目
53	1階南面(書庫(2))窓上部	
		<p>特記事項</p>

番号	部 位	項 目
54	1階南面(書庫(2))窓下部	
		<p>特記事項</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
55	NO53写真拡大右側中央	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官縦枠に亀裂(最大7.0ミリ)が発生</p> <p>黄色丸部分の外左官壁に浮きが見られる</p>

番号	部 位	項 目
56	NO54写真拡大窓右下	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の補修以前の左官外壁及び左官ボーダーや巾木に亀裂(最大2.0ミリ)や剥離が発生</p>

番号	部 位	項 目
57	1階南面(書庫(1)と書庫(2)の境)の外壁	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分に過去にあった窓の痕跡が見られる</p> <p>黄色丸部分の左官ボーダーに劣化が見られる</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
58	1階南面(書庫(3))窓	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分に過去にあった窓の痕跡が見られる</p>

番号	部 位	項 目
59	NO58写真下部巾木.ボーダー部分	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官外壁に浮きや亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p> <p>黄色丸部分の巾木の左官目地が剥落している</p>

番号	部 位	項 目
60	NO58写真窓右下拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の窓木枠の劣化や黄色丸部分の左官窓枠との境に隙間が発生</p> <p>左官窓枠や窓台も劣化している</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

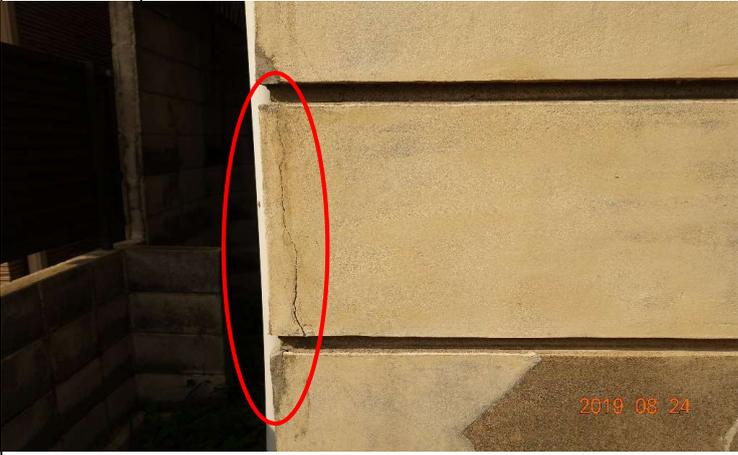
番号	部 位	項 目
61	NO58写真拡大窓下部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分に亀裂(最大0.6ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
62	NO58写真拡大窓左下部	
		<p>特記事項</p> <p>木建枠の劣化が進み一部左官枠との境に隙間が発生</p>

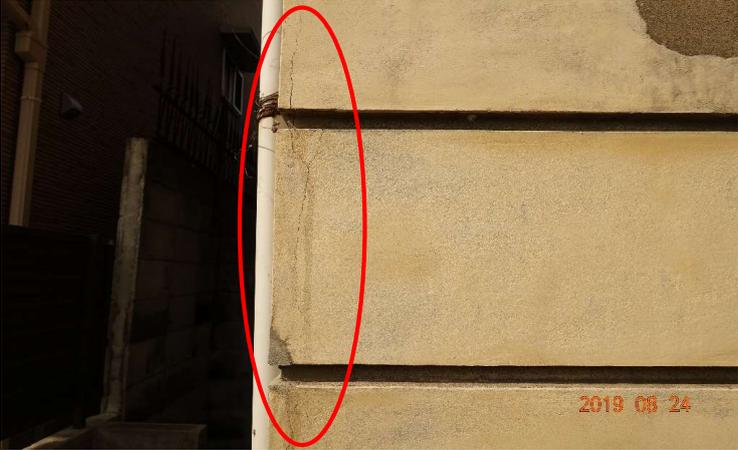
番号	部 位	項 目
63	1階南面(書庫3)外壁	
		<p>特記事項</p>

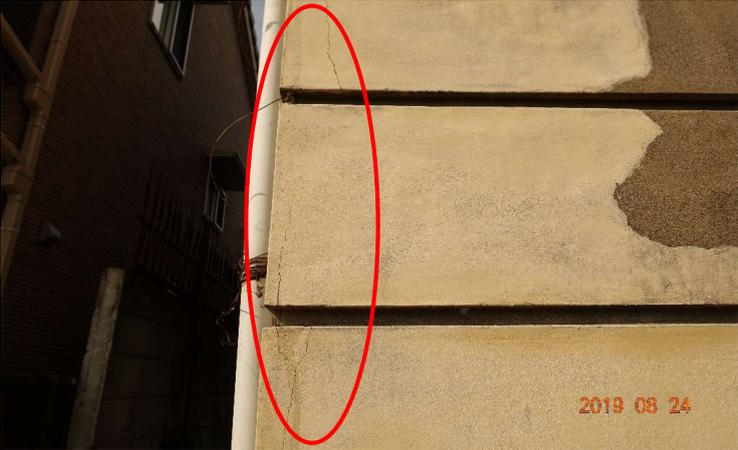
撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
64	NO63写真下部巾木.ボーダー	
		特記事項 赤丸部分の左官巾木.ボーダー.外壁に亀裂(最大1.2ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
65	NO64写真左側巾木.ボーダー.外壁	
		特記事項 赤丸部分左官ボーダーに亀裂(最大1.3ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
66	NO65写真上部外壁	
		特記事項 赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.8ミリ)が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
67	NO66写真上部外壁	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
68	NO67写真上部外壁	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁に亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
69	1階西面(中央から南側)外壁	
		<p>特記事項</p> <p>全体に補修面も含めて細かい多数の亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
70	1階西面(中央から北側)	
		<p>特記事項</p> <p>全体に補修面も含めて細かい多数の亀裂(最大0.4ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
71	1階北面全体	
		<p>特記事項</p>

番号	部 位	項 目
72	1階北面(書庫(3))巾木床下換気口	
		<p>特記事項</p> <p>換気口前にプレハブ物置が有り通気を阻害</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
73	1階北面(書庫(2))巾木床下換気口	
		特記事項
		雨水の溢れた時に床下換気口へ水が侵入するを防ぐため床下換気口に蓋がされている

番号	部 位	項 目
74	なし	
		特記事項

番号	部 位	項 目
75	なし	
		特記事項

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
76	2階東面外壁	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
77	NO76写真右側外壁コーナー	
		特記事項 <hr/> 外壁に過去の亀裂補修痕跡有り <hr/>

番号	部 位	項 目
78	NO77写真下部	
		特記事項 <hr/> 同上 <hr/>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日	
番号	部 位	項 目
79	NO78写真下部	
		特記事項 同上

番号	部 位	項 目
80	NO76写真窓拡大	
		特記事項

番号	部 位	項 目
81	NO80写真上部拡大	
		特記事項 軒裏部分に漏水による染み痕跡が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
82	NO76写真窓右側下部拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁に亀裂が発生</p>

番号	部 位	項 目
83	NO76写真窓左側下部拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁に亀裂が発生</p>

番号	部 位	項 目
84	NO76写真左側外壁コーナー	
		<p>特記事項</p> <p>軒裏部分に漏水による染み痕跡が発生</p> <p>赤丸部分の外壁に過去の亀裂補修痕跡有り</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
85	NO84写真下部拡大	
		特記事項 <hr/> 赤丸部分の外壁に過去の亀裂補修痕跡有り

番号	部 位	項 目
86	玄関左官仕上げ庇南面	
		特記事項 <hr/> 赤丸部分の庇側面に亀裂が発生

番号	部 位	項 目
87	2階南面外壁	
		特記事項 <hr/>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
88	2階南面窓(階段室)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の軒裏に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
89	NO88写真右下下部	
		<p>特記事項</p> <p>外壁に過去の亀裂補修痕跡有り</p>

番号	部 位	項 目
90	NO88写真左下下部	
		<p>特記事項</p> <p>外壁に過去の亀裂補修痕跡有り</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
106	2階北面窓(納戸右側)(上)	
		特記事項 ----- 左官仕上げ外壁に亀裂の補修痕跡有り ----- 鋼製格子と鋼板貼り雨戸の錆が進行している

番号	部 位	項 目
107	2階北面窓(納戸右側)(上下)	
		特記事項 ----- 左官仕上げ外壁に亀裂の補修痕跡有り ----- 鋼製格子と鋼板貼り雨戸の錆が進行している

番号	部 位	項 目
108	2階北面窓(納戸中央)(上)	
		特記事項 ----- 鋼製格子と鋼板貼り雨戸の錆が進行している

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日	
番号	部 位	項 目
109	2階北面窓(納戸中央)(下)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官仕上げ外壁に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
110	2階北面窓(納戸左側窓)(上)	
		<p>特記事項</p> <p>鋼製格子の錆が進行している</p> <p>赤丸部分の左官仕上げ外壁部に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
111	2階北面窓(納戸左側)(下)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の左官仕上げ外壁に亀裂が発生</p> <p>黄色矢印部分の左官仕上げ軒が剥落が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
112	2階北面左官仕上げ軒	
		特記事項

番号	部 位	項 目
113	2階北面左官仕上げ軒	
		特記事項 赤丸部分の軒樋の上の左官仕上げ軒に亀裂が発生

番号	部 位	項 目
114	2階北面外壁下部	
		特記事項 左官仕上げ水切り及び石製庇

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
115	2階北面窓(展示室(1))	
		<p>特記事項</p>

番号	部 位	項 目
116	NO115写真窓下部窓台裏	
		<p>特記事項</p> <p>左官仕上げ窓台裏に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
117	2階北面外壁(展示室(1))	
		<p>特記事項</p> <p>左官仕上げ外壁に亀裂補修痕跡有り</p> <p>横目地より下部の左官仕上げ外壁に雨水による汚れが目立つ</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 31 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
118	2階北面外壁及び窓(展示室(2))	
		<p>特記事項</p> <p>左官仕上げ外壁及び軒に亀裂補修痕跡有り</p>

番号	部 位	項 目
119	2階北面窓(展示室(2))窓左下部	
		<p>特記事項</p> <p>左官仕上げ外壁に亀裂補修痕跡有り</p>

番号	部 位	項 目
120	1階北面角波鉄板	
		<p>特記事項</p> <p>釘頭に錆が発生</p> <p>一部鉄板面に凹凸が発生</p>

調査日時	令和 1 年 7 月 20 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
121	1階書庫(1)収納内部北面旧書院入口(上部)	
		<p>特記事項</p> <p>開口部の上部漆喰壁の下に煉瓦が確認できる</p>

番号	部 位	項 目
122	1階書庫(1)収納内部北面旧書院入口(中央)	
		<p>特記事項</p> <p>鋼板張りの出入り口が確認される</p> <p>塗装の色は当所の色であろう</p>

番号	部 位	項 目
123	1階書庫(1)収納内部北面旧書院入口(下部)	
		<p>特記事項</p>

調査日時	令和 1 年 7 月 20 日
番号	部 位 ・ 項 目
124	1階書庫(2)北面窓(上部)
	
<p>特記事項</p> <p>1階南面窓と同様の外壁壁の収まりが確認できる</p>	

番号	部 位 ・ 項 目
125	1階書庫(2)北面窓(下部)
	
<p>特記事項</p> <p>1階南面窓同様の左官水切り仕上げが確認できる</p>	

番号	部 位 ・ 項 目
126	1階書庫(1)収納北面外壁
	
<p>特記事項</p>	

調査日時	令和 1 年 7 月 20 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
127	1階書庫(1)収納北面外壁(上部)	
		<p>特記事項</p> <p>漆喰壁の下に煉瓦が確認される</p>

番号	部 位	項 目
128	1階書庫(1)収納北面外壁(下部)	
		<p>特記事項</p> <p>同様</p>

番号	部 位	項 目
129	1階書庫(1)収納北面外壁(下部拡大)	
		<p>特記事項</p>

調査日時	令和 1 年 7 月 20 日		

番号	部	位	・	項	目
130					
なし				特記事項	

番号	部	位	・	項	目
131					
なし				特記事項	

番号	部	位	・	項	目
132					
なし				特記事項	

調査日時	令和 1 年 7 月 20 日		

番号	部	位	・	項	目
133					
なし				特記事項	

番号	部	位	・	項	目
134					
なし				特記事項	

番号	部	位	・	項	目
135					
なし				特記事項	

調査日時	令和 1 年 9 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
1	1階書庫(3)床下南西方向を撮影	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印部分の大引きに蟻害が発生</p> <p>地盤が黒くカビが発生し湿気ている</p>

番号	部 位	項 目
2	1階書庫(3)床下東方向を撮影	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印部分の大引きに蟻害が発生</p> <p>地盤が黒くカビが発生し湿気ている</p>

番号	部 位	項 目
3	1階書庫(2)床下北方向を撮影	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印部分の大引きに蟻害が発生、青矢印の北面床下換気口が塞がれている(1カ所のみ)</p> <p>黄色矢印部分の床板側面に蟻害が発生</p>

調査日時	令和 1 年 9 月 24 日			
番号	部	位	項 目	
4	1階書庫(2)床下北東方面を撮影			
				特記事項
				<p>赤矢印部分の大引きに蟻害が発生</p>
<p>地盤が黒くカビが発生し湿気ている</p>				

番号	部	位	項 目	
5	1階書庫(2)床下北方向を撮影			
				特記事項
				<p>レンガ部分の汚れが目立つ</p>
<p>地盤が黒くカビが発生し湿気ている</p>				

番号	部	位	項 目	
6	1階書庫(2)床下南方向を撮影			
				特記事項
				<p>赤矢印部分の大引きに蟻害が発生</p>
<p>地盤が黒くカビが発生し湿気ている</p>				

調査日時	令和 1 年 9 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
7	1階書庫(2)床下北西方向を撮影	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印部分の床下換気口が土で塞がれている</p>

番号	部 位	項 目
8	1階書庫(2)床下から1階書庫(1)床下を撮影	
		<p>特記事項</p> <p>1階書庫(1)の床下地材は1階書庫(2)(3)より新しく見える</p>

番号	部 位	項 目
9	束煉瓦の様子	
		<p>特記事項</p> <p>高さ=280ミリ</p>

調査日時	令和 1 年 9 月 24 日		

番号	部 位	項 目
10	束煉瓦の様子	
		特記事項
		巾=240ミリ

番号	部 位	項 目
11	束煉瓦の様子	
		特記事項
		巾=130ミリ

番号	部 位	項 目
12		
なし		特記事項

調査日時	令和 1 年 9 月 24 日	
------	-----------------	--

番号	部 位	項 目
13		
	なし	特記事項

番号	部 位	項 目
14		
	なし	特記事項

番号	部 位	項 目
15		
	なし	特記事項

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
1	2階展示室(1)北面	
		特記事項 引き分け窓及び引き分け雨戸の開閉は老朽化のため相当重い

番号	部 位	項 目
2	NO1写真窓下枠右側	
		特記事項 しっくい壁面に漏水染み痕跡有り (一部浮きや亀裂(最大0.1ミリ)が発生) 窓下額縁と腰壁見切縁に隙間 (最大7.0ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
3	NO1写真窓左下部分	
		特記事項 赤丸部分のしっくい壁面に漏水による染み痕跡が発生 黄色矢印のしっくい壁面で腰壁見切縁と柱との間に隙間(最大2.0ミリ)が発生

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
4	NO1写真引き戸窓木口	
		<p>特記事項</p> <p>外部引き分け窓縦枠と左官仕上げ外壁の間に隙間(最大2.0ミリ)が発生、同様に下枠と石洗い出し仕上げ窓台にも隙間(最大2.5ミリ)が発生</p> <p>外部引き分け窓下枠には苔が生えて一部腐朽が進行している、また引き分け窓建具木口の貫に損傷が発生</p>

番号	部 位	項 目
5	NO1写真引き分け窓建具下部(外部)	
		<p>特記事項</p> <p>縦枠と横枠に隙間(最大1.5ミリ)が発生また当初には塗装が施されていたと思われるが殆ど痕跡が無い</p> <p>引き分け窓下枠には苔が生えて一部腐朽が進行している</p>

番号	部 位	項 目
6	NO1写真引き分け雨戸建具中央(外部)	
		<p>特記事項</p> <p>塗装が剥がれ落ち一部錆も発生</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
7	NO1写真引き分け窓建具下部(内部)	
		<p>特記事項</p> <p>縦枠と下枠及び敷居や額縁に漏水による痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
8	NO1写真引き分け窓及び雨戸下枠	
		<p>特記事項</p> <p>手前の雨戸の敷居溝の鉄板に腐食による穴が発生</p>

番号	部 位	項 目
9	NO1写真引き分け窓外部窓台(手前は敷居)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の石洗い出し仕上げの窓台に一部亀裂(最大0.8ミリ)が発生</p> <p>手前敷居には苔が発生し窓台との間に隙間(最大2.5ミリ)が発生(この隙間部分からの雨水の侵入が考えられる)</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
10	NO1写真引き分け窓外部の窓台上の鋼製手摺	
		特記事項 ----- 塗装も剥がれ落ち錆びて腐食が進行 -----

番号	部 位	項 目
11	2階展示室(1)東面	
		特記事項 ----- -----

番号	部 位	項 目
12	NO11写真左上部	
		特記事項 ----- 赤矢印の廻縁としっくい壁面との間に隙間(最大2.0ミリ)が発生 -----

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
13	2階展示室(2)南面	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
14	NO13写真入口ドア一窓	
		特記事項 <hr/> 赤矢印の小窓ガラスの一部に割れが発生 <hr/>

番号	部 位	項 目
15	2階展示室(1)西面	
		特記事項 <hr/>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
16	NO15写真床の間上部	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印の廻り縁と左官壁との間に隙間(最大3.0ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
17	NO15写真床の間床	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印の床枠と地板の間に隙間(7.0ミリ)が発生</p>

番号	部 位	項 目
18	NO15写真地袋天板右側	
		<p>特記事項</p> <p>赤矢印の天板としっくい壁の間に隙間(0.2ミリ)が発生</p>

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
19	NO15写真地袋天板左側	
		特記事項 赤矢印の天板としっくい壁の間に隙間(2.0ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
20	2階展示室(1)天井見上げ(下が北面)	
		特記事項 赤丸天井付近に一部漏水による染み痕跡が発生

番号	部 位	項 目
21	2階展示室(1)天井見上げ(上が南面)	
		特記事項 同上

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
22	2階展示室(2)北面窓	
		特記事項 引き込み雨戸の開閉は老朽化のために相当重い 2019 08 31

番号	部 位	項 目
23	NO22写真窓下部	
		特記事項 窓下枠や窓額縁に漏水による染み痕跡が発生 2019 08 24

番号	部 位	項 目
24	NO22写真窓下部(外部)	
		特記事項 赤丸部分の左水切り銅版下部の左官壁に亀裂(最大0.7ミリ)が発生 2019 08 24

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
25	NO22上下窓建具下部(内部)	
		特記事項 赤丸部分の縦枠と横枠に隙間(最大4.0ミリ)が発生 縦枠と横枠に漏水による染み痕跡が発生

番号	部 位	項 目
26	NO22写真左上	
		特記事項 赤丸部分のしっくい壁面に亀裂(最大3.0ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
27	2階展示室(2)天井(下が西)	
		特記事項 赤丸部分のしっくい天井面に亀裂(最大2.0ミリ)が発生

調査日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
28	2階展示室(2) 東面窓	
		<p>特記事項</p> <p>上下窓及び引き込み雨戸の開閉は老朽化により相当重い</p>

番号	部 位	項 目
29	NO28写真窓下部	
		<p>特記事項</p> <p>上下窓と引き込み雨戸との境に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
30	NO28写真窓縦枠部	
		<p>特記事項</p> <p>同上</p>

住宅登録番号		事故受付番号	
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		

番号	部 位	項 目
31	NO28写真窓クレセント	
		特記事項 ----- 錆による不良が発生 -----

番号	部 位	項 目
32	2階廊下西面	
		特記事項 ----- -----

番号	部 位	項 目
33	2階廊下東面	
		特記事項 ----- -----

住宅登録番号		事故受付番号	
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		
番号	部 位 ・ 項 目		
34	2階廊下床(上が西)		
		特記事項 赤丸部分に漏水による染み痕跡が大きく広がっている 床板のジョイントが反り上がり床鳴りが発生	

番号	部 位 ・ 項 目		
35	2階廊下天井(下が西)		
		特記事項	

番号	部 位 ・ 項 目		
36	2階廊下南面窓左側		
		特記事項 赤丸部分のしっくい壁や木部造作部分に漏水による染み痕跡が発生	

住宅登録番号		事故受付番号	
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		

番号	部 位	項 目
37	2階廊下南面窓左側 (NO36写真下部)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の巾木付近に漏水による染み痕跡が目立つ</p>

番号	部 位	項 目
38	2階廊下南面窓左側	
		<p>特記事項</p> <p>擬宝珠から階段腰壁見切縁にかけてしっくい壁の亀裂(最大0.5ミリ)や隙間(最大1.5ミリ)が目立つ</p>

番号	部 位	項 目
39	2階階段室上部間仕切壁 (北面)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分のしっくい壁に亀裂(最大0.5ミリ)が発生</p>

住宅登録番号		事故受付番号	
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		

番号	部 位	項 目
40	2階廊下北面入口ドア右上	
		特記事項 同上

番号	部 位	項 目
41	2階廊下南面窓	
		特記事項 上下窓のガラスが網入りガラスに変更された為、開閉が重くなりバランスができないので、窓を固定させるために棒を利用 漏水や日焼けにより下框も損傷している

番号	部 位	項 目
42	2階廊下南面窓下部	
		特記事項 上下窓と雨戸の間に漏水による染み痕跡が発生

住宅登録番号		事故受付番号	
調査日時	令和 1 年 8 月 24 日		

番号	部 位	項 目
43	2階廊下南面上下窓	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の網入りガラスの一部にひび割れが発生</p>

番号	部 位	項 目
44	2階展示室(2)床	
		<p>特記事項</p> <p>天然リリウム床材の傷みが目立つ</p>

番号	部 位	項 目
45	2階展示室(2)南面	
		<p>特記事項</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
46	1階廊下東面	
		特記事項

番号	部 位	項 目
47	46写真拡大	
		特記事項
		赤丸部分のスイッチ上の左官壁に亀裂(1.5ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
48	1階廊下西面	
		特記事項

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
49	1階書庫(1)北面	
		特記事項

番号	部 位	項 目
50	NO49写真拡大	
		特記事項
		赤丸部分の垂れ壁や天袋襖に漏水による染み痕跡が発生

番号	部 位	項 目
51	1階書庫(1)南面	
		特記事項
		赤丸部分の垂れ壁に漏水による染み痕跡が発生

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
52	NO51写真下部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の窓下腰壁に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
53	1階書庫(2)南面	
		<p>特記事項</p>

番号	部 位	項 目
54	NO53写真窓腰壁	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の腰壁に漏水による染み痕跡が発生</p> <p>窓額縁下端に漏水による染み痕跡が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
55	1階書庫(2)北面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の垂れ壁に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
56	1階書庫(2)北面(右側押入)	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の壁に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
57	NO56写真押入内部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外壁側の壁に漏水による染み痕跡が発生</p> <p>黄色丸部分の奥の間仕切壁に亀裂(最大2.5ミリ)が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
58	1階書庫(3)南面窓	
		<p>特記事項</p> <hr/>

番号	部 位	項 目
59	NO58写真下部	
		<p>特記事項</p> <hr/> <p>赤丸部分の窓下枠や腰壁に漏水による染み痕跡が発生</p> <hr/>

番号	部 位	項 目
60	1階書庫(3)南西面角	
		<p>特記事項</p> <hr/> <p>赤丸部分の垂れ壁に漏水による染み痕跡が発生</p> <hr/> <p>黄色丸部分の壁に亀裂(最大0.1ミリ)が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
61	2階納戸南面	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
62	NO1写真上部拡大	
		特記事項 <hr/> 赤丸部分の壁に亀裂(最大3.0ミリ)が発生 <hr/> 黄色部分の桁と柱の間や壁との間に隙間(最大17.0ミリ)が発生

番号	部 位	項 目
63	2階納戸南面	
		特記事項 <hr/> 赤丸部分に多数の漏水による染み痕跡が発生 <hr/>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日	
番号	部 位	項 目
64	2階納戸南面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の窓枠に漏水による染み痕跡が発生</p> <p>指差している柱と壁に隙間(最大13.0ミリ)が発生(梁のねじれと思われる)</p>

番号	部 位	項 目
65	NO4写真上部拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分同上</p>

番号	部 位	項 目
66	NO65写真上部	
		<p>特記事項</p> <p>野地板.垂木.桁.梁に漏水による染み痕跡が発生</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
67	2階納戸南面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の窓枠下端に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
68	2階納戸南西角面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の野地板面に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
69	2階納戸北面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の野地板に多数の漏水による染み痕跡が発生</p>

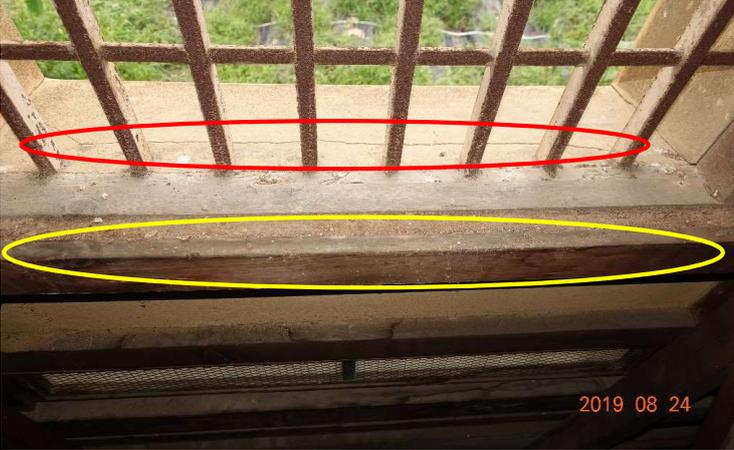
撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
70	NO69写真の下部窓	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
71	NO70写真拡大	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外部左官面台に亀裂(最大2.5ミリ)が発生</p> <p>黄色丸部分の手前の敷居に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
72	2階納戸北面	
		<p>特記事項</p>

撮影日時	令和 1 年 8 月 24 日
------	-----------------

番号	部 位	項 目
73	NO72拡大下部	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の外部左官面台に亀裂(最大2.0ミリ)が発生</p> <p>黄色丸部分の手前敷居に漏水による染み痕跡が発生</p>

番号	部 位	項 目
74	2階納戸北面	
		<p>特記事項</p> <p>赤丸部分の梁及び柱の左側で左官壁との境に隙間(最大9.0ミリ)が発生</p> <p>(梁のねじれと思われる)</p>

番号	部 位	項 目
75	2階納戸北面	
		<p>特記事項</p>

			(建物本館1階天井裏)
撮影日時	令和 1 年 9 月 24 日		

番号	部 位	項 目
1	2階展示室南面壁面木摺	
		<p>特記事項</p> <p>漆喰塗り壁の間仕切り下地(木摺が細かいので建築当初の物か)</p>

番号	部 位	項 目
2	2階外壁南面(東隅)	
		<p>特記事項</p> <p>木摺が荒いので途中改修があった可能性もある又柱や木摺が土で汚れている、建築当初は土壁か若しくは屋根の土の汚れか不明</p> <p>赤丸部分に縦樋取り付け金物</p>

番号	部 位	項 目
3	2階外壁南東角	
		<p>特記事項</p> <p>筋違が設置されている</p> <p>NO2同様の土の汚れ</p>

			(建物本館1階天井裏)
撮影日時	令和 1 年 9 月 24 日		
番号	部	位	項 目
4	小屋裏北西方向を撮影		
			特記事項 鋼製の水平ブレースが設置されている、建築後の補強か

番号	部	位	項 目
5	2階小屋裏西方向を撮影		
			特記事項 棟木が見える

番号	部	位	項 目
6	2階小屋裏南西角		
			特記事項 NO4同様に鋼製のブレースが設置されている、建築後の補強か

			(建物本館1階天井裏)
撮影日時	令和 1 年 9 月 24 日		

番号	部 位	項 目
7		
なし		特記事項

番号	部 位	項 目
8		
なし		特記事項

番号	部 位	項 目
9		
なし		特記事項

			(建物本館1階天井裏)
撮影日時	令和 1 年 9 月 24 日		

番号	部 位	項 目
10	2階書庫(1)天井裏(南東隅)点検口より南西方向を撮影	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
11	同上西方向を撮影	
		特記事項 1階外壁廻りの煉瓦造の上に梁が廻りにササラ桁が取りつく <hr/>

番号	部 位	項 目
12	同上北西方向を撮影	
		特記事項 <hr/>

			(建物本館1階天井裏)
撮影日時	令和 1 年 9 月 24 日		

番号	部 位	項 目
13	同上北方向を撮影	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
14	同上南方向を撮影	
		特記事項 煉瓦造の上の梁成より高いササラ桁の取り付けは箱金物補強 <hr/>

番号	部 位	項 目
15	なし	
		特記事項 <hr/>

調査日時	令和 1 年 10 月 22 日	

番号	部 位	項 目
1	洋館アプローチ	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
2	畑越しに洋館を撮影	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
3	同上	
		特記事項 <hr/>

調査日時	令和 1 年 10 月 22 日	
番号	部 位	項 目
4	NO3続き	
		特記事項

番号	部 位	項 目
5	北側通路の西方向を撮影	
		特記事項

番号	部 位	項 目
6	北側通路より東方向を撮影	
		特記事項

調査日時	令和 1 年 10 月 22 日
------	------------------

番号	部 位	項 目
7	北面床下換気口(左側)	
		特記事項 ----- 換気口が土壁で塞がれている ----- 換気口の下端スレスレまで地盤が迫っている

番号	部 位	項 目
8	北面床下換気口(中央左寄り)	
		特記事項 ----- 換気口の下端スレスレまで地盤が迫っている

番号	部 位	項 目
9	同上	
		特記事項 ----- 換気口の下端スレスレまで地盤が迫っている

調査日時	令和 1 年 10 月 22 日
------	------------------

番号	部 位	項 目
10	北面床下換気口(中央右寄り)	
		特記事項 ----- 換気口が土壁で塞がれている ----- 換気口の下端スレスレまで地盤が迫っている

番号	部 位	項 目
11	同上	
		特記事項 ----- 同上 ----- 同上

番号	部 位	項 目
12	北面床下換気口(右側)	
		特記事項 ----- 換気口がプレハブ物置に塞がれている ----- 換気口の下端スレスレまで地盤が迫っている

調査日時	令和 1 年 10 月 22 日
------	------------------

番号	部 位	項 目
13	北側通路設置プレハブ物置周辺	
		特記事項 <hr/>

番号	部 位	項 目
14	南東角レンガ柵270角	
		特記事項 蓋が無い <hr/>

番号	部 位	項 目
15	南側中央縦樋	
		特記事項 木杭で支えた横に浸透柵のような壺がある <hr/> 排水は出来ていないように思う